

(5) 調査結果

ア 当初計画の重機ピーク（令和元年10月）

① 重機の稼動に係る振動の状況

重機の稼動に係る振動調査結果は、表 7.3-6に示すとおりである。

1時間値の最大値は45dBとなり、振動規制法及び仙台市公害防止条例の基準値を満足した。なお、調査地点で観測された振動は、市道 荒巻根白石線を走る車両走行振動が卓越していた。

表 7.3-6 事後調査結果（振動：重機の稼動）

調査地点 (地点名又は路線名)	事後調査結果 (dB)		基準値 (dB)	
	最大となった 時間帯	1時間値の最大値 $L_{10}$ <sup>※1</sup>	振動規制法 特定建設作業振動 に関する基準 $L_{10}$ <sup>※2</sup>	仙台市公害防止条例 指定建設作業振動 に関する基準 $L_{10}$ <sup>※3</sup>
V 泉区根白石字針生山 地内 (敷地境界最大振動レベル地点)	8:00	45	75	75

※1：事後調査結果は工事時間帯（8:00～17:00）での1時間値の最大値とした。また、1時間値の最大値は、工事時間帯で発生した80%レンジの上端値（ $L_{10}$ ）の最大値とした。

※2：調査地点において、特定建設作業振動に関する基準は一号区域に係る基準値を適用した。

※3：調査地点において、指定建設作業振動に関する基準は一号区域に係る基準値を適用した。

② 資材等の運搬及び重機の稼動（重ね合わせ）に係る振動の状況

a) 重ね合わせに係る振動レベル

資材等の運搬及び重機の稼動の複合による振動レベルは、表 7.3-7に示すとおりである。

振動レベルは43dBで要請限度を満足した。なお、調査地点で観測された振動は、市道 荒巻根白石線を走る車両走行振動が卓越していた。

表 7.3-7 事後調査結果（振動：複合）

調査地点 (地点名又は路線名)	時間帯 の区分 <sup>※1</sup>	事後調査結果 (dB) <sup>※2</sup>		要請限度 $L_{10}$ (dB) <sup>※3</sup>
		最大となった 時間帯	1時間値の最大値 $L_{10}$	
R3 泉区寺岡3丁目 (市道荒巻根白石線)	昼間	8:00 9:00 14:00 15:00 17:00	43	65

※1：時間帯の区分（昼間）は8:00～19:00である。

※2：事後調査結果は工事時間帯（8:00～17:00）での1時間値の最大値とした。また、1時間値の最大値は、工事時間帯で発生した80%レンジの上端値（ $L_{10}$ ）の最大値とした。

※3：道路交通振動の要請限度のうち、第一種区域の昼間（8:00～19:00）の基準値を示す。

b) 交通量等

交通量等の調査結果は、「7.1 大気質 7.1.1. 環境の状況 (5) 調査結果 ア 当初計画の重機ピーク d) 交通量」に示すとおりである。

## イ 工事工程変更による重機ピーク（令和2年10月）

### ① 重機の稼動に係る振動の状況

重機の稼動に係る振動調査結果は、表 7.3-8に示すとおりである。

1時間値の最大値は43dBとなり、振動規制法及び仙台市公害防止条例の基準値を満足した。なお、調査地点で観測された振動は、市道 荒巻根白石線を走る車両走行振動が卓越していた。

表 7.3-8 事後調査結果（振動：重機の稼動）

調査地点 (地点名又は路線名)	事後調査結果 (dB)		基準値 (dB)	
	最大となった 時間帯	1時間値の最大値 $L_{10}$ ※ <sup>1</sup>	振動規制法 特定建設作業振動 に関する基準 $L_{10}$ ※ <sup>2</sup>	仙台市公害防止条例 指定建設作業振動 に関する基準 $L_{10}$ ※ <sup>3</sup>
V 泉区根白石字針生山 地内 (敷地境界最大振動レベル地点)	8:00~17:00	43	75	75

※1：事後調査結果は工事時間帯（8:00~17:00）での1時間値の最大値とした。また、1時間値の最大値は、工事時間帯で発生した80%レンジの上端値（ $L_{10}$ ）の最大値とした。

※2：調査地点において、特定建設作業振動に関する基準は一号区域に係る基準値を適用した。

※3：調査地点において、指定建設作業振動に関する基準は一号区域に係る基準値を適用した。

### ② 資材等の運搬及び重機の稼動（重ね合わせ）に係る振動の状況

#### a) 重ね合わせに係る振動レベル

資材等の運搬及び重機の稼動の複合による振動調査結果は、表 7.3-9に示すとおりである。

振動レベルは37dBで要請限度を満足した。なお、調査地点で観測された振動は、市道 荒巻根白石線を走る車両走行振動が卓越していた。

表 7.3-9 事後調査結果（振動：複合）

調査地点 (地点名又は路線名)	時間帯 の区分※ <sup>1</sup>	事後調査結果 (dB) ※ <sup>2</sup>		要請限度 $L_{10}$ (dB) ※ <sup>3</sup>
		最大となった 時間帯	1時間値の最大値 $L_{10}$	
R3 泉区寺岡3丁目 (市道荒巻根白石線)	昼間	10:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00	37	65

※1：時間帯の区分（昼間）は8:00~19:00である。

※2：事後調査結果は工事時間帯（8:00~17:00）での1時間値の最大値とした。また、1時間値の最大値は、工事時間帯で発生した80%レンジの上端値（ $L_{10}$ ）の最大値とした。

※3：道路交通振動の要請限度のうち、第一種区域の昼間（8:00~19:00）の基準値を示す。

#### b) 交通量等

交通量等の調査結果は、「7.1 大気質 7.1.1. 環境の状況 (5) 調査結果 イ 工事工程変更による重機ピーク d) 交通量」に示すとおりである。

### 7.3.2. 環境の状況に係る対象事業の状況及び対象事業による負荷の状況

#### (1) 調査内容

調査内容は、表 7.3-10に示すとおりである。

表 7.3-10 調査内容（振動）

調査項目	調査内容
振動	重機の稼動に係る重機の稼動台数
	環境保全措置の実施状況

#### (2) 調査方法

調査方法は、表 7.3-11に示すとおりである。

表 7.3-11 調査方法（振動）

調査内容	調査方法
重機の稼動台数	工事記録の確認ならびに必要なに応じてヒアリング調査を実施した。
環境保全措置の実施状況	現地確認調査及び記録の確認ならびに必要なに応じてヒアリング調査を実施した。

#### (3) 調査地点

調査地点は表 7.3-12に示すとおりである。

表 7.3-12 調査地点（振動）

調査内容	調査地点
重機の稼動台数	対象事業計画地内
環境保全措置の実施状況	対象事業計画地内

#### (4) 調査時期

調査時期は、表 7.3-13に示すとおりである。

表 7.3-13 調査時期（振動）

調査内容	調査時期
重機の稼動台数	令和元年 10 月 24 日（当初計画による重機ピーク） 令和 2 年 10 月 9 日（工事工程変更による重機ピーク）
環境保全措置の実施状況	平成 30 年 12 月 1 日～令和 2 年 11 月 30 日

#### (5) 調査結果

##### ア 重機の稼動台数

重機の稼動台数は、「7.1 大気質 7.1.2. 環境の状況に係る対象事業の状況及び対象事業による負荷の状況 (5) 調査結果」に示すとおりである。

##### イ 環境保全措置の実施状況

環境保全措置の実施状況は、「5. 環境の保全及び創造のための措置の実施状況 5.2. 騒音」に示すとおりである。

## 7.4. 水質



## 7.4. 水質

### 7.4.1. 環境の状況

#### (1) 調査内容

調査内容は、表 7.4-1に示すとおりである。

表 7.4-1 調査内容（水質）

調査項目	調査内容
水質	切土・盛土・掘削等に係る水の濁り

#### (2) 調査方法

調査方法は、表 7.4-2に示すとおりである。

表 7.4-2 調査方法（水質）

調査内容	調査方法
切土・盛土・掘削等に係る水の濁り	採水した水の浮遊物質量（SS）を分析するとともに、流速計等を用いて流量を測定する方法とした。

#### (3) 調査地点

調査地点は表 7.4-3及び図 7.4-1に示すとおり、東工区放流先の3地点で実施した。

表 7.4-3 調査地点（水質）

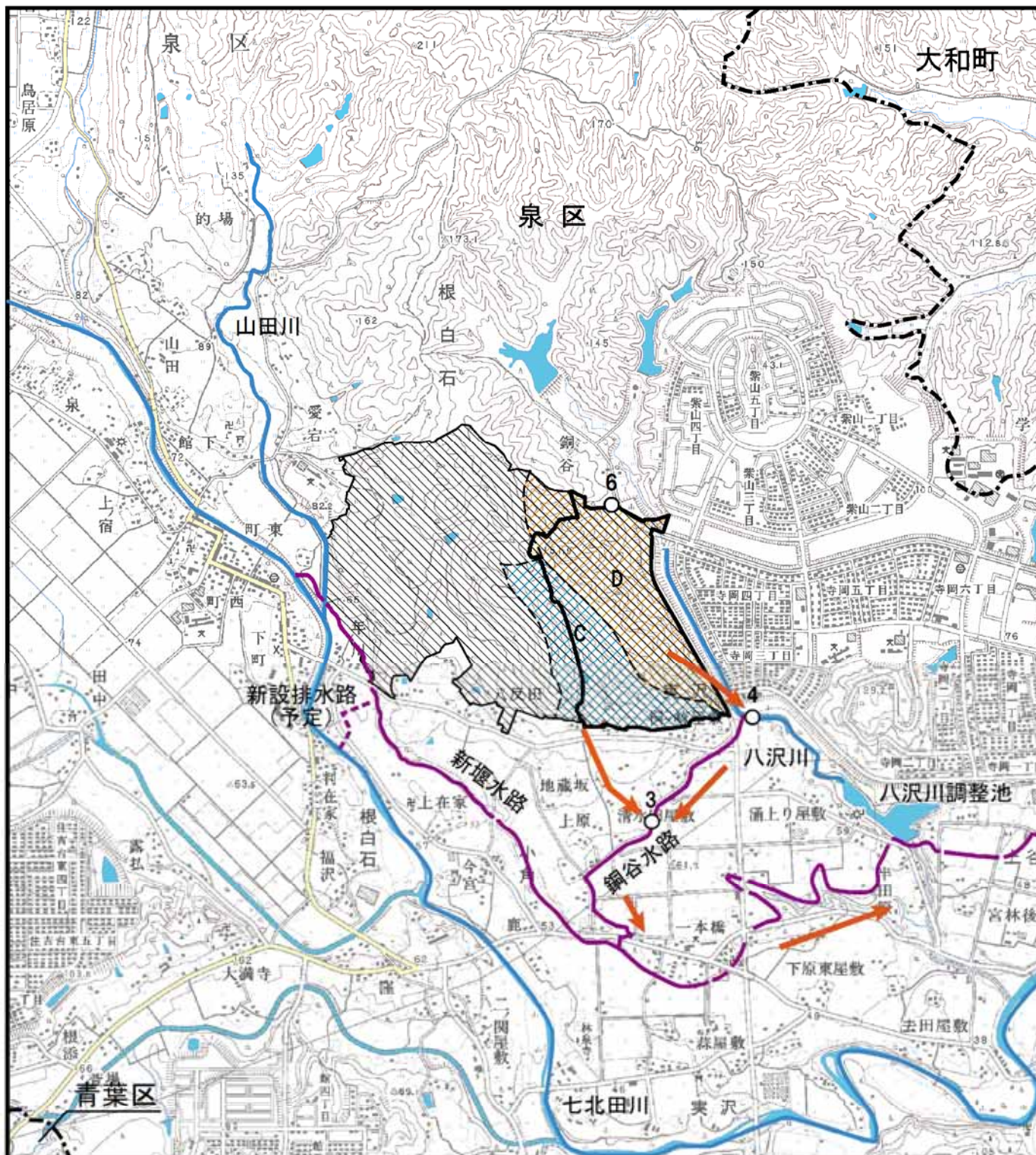
調査内容	調査地点	
	地点番号	河川名等
切土・盛土・掘削等に係る水の濁り	No. 3	銅谷水路
	No. 4	八沢川
	No. 6	開発区域内ため池

#### (4) 調査時期











調査期間は表 7.4-4に示すとおりである。

表 7.4-4 調査時期（水質）

調査内容	天候	調査時期
切土・盛土・掘削等に係る水の濁り ・浮遊物質量（SS） ・流量	降雨後（出水時）	令和元年9月9日
	晴天時（平水時）	令和元年9月19日
	降雨後（出水時）	令和2年2月17日
	降雨後（出水時）	令和2年3月11日
	降雨後（出水時）	令和2年4月2日
	降雨後（出水時）	令和2年4月14日
	降雨後（出水時）	令和2年5月20日
	降雨後（出水時）	令和2年6月20日
	降雨後（出水時）	令和2年6月26日
	降雨後（出水時）	令和2年7月15日
	降雨後（出水時）	令和2年9月2日
	晴天時（平水時）	令和2年10月15日



凡例

- |   |           |  |            |
|---|-----------|--|------------|
|  | : 対象事業計画地 |   | : 河川       |
|  | : 東工区     |   | : 水路       |
|  | : 市区境界線   |   | : 計画雨水排水経路 |
|  | : 水質調査地点  |   | : 流域界      |
| { No. 3 : 銅谷水路<br>No. 4 : 八沢川<br>No. 6 : 開発区域内ため池                                   |           | {  : 銅谷水路へ放流される流域<br> : 八沢川調整池へ放流される流域 |            |



S=1:25,000

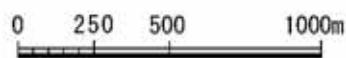


図 7.4-1 水質調査地点  
(切土・盛土・掘削等)

出典:「仮設調整池(土堰堤)設置計画図」

(5) 調査結果

① 水質（浮遊物質（SS））

水質（浮遊物質（SS））は表 7.4-5、調査時の調査地点状況は表 7.4-6に示すとおりである。事後調査の結果、降雨後（令和元年9月9日）は、13mg/L～720mg/L、晴天時（令和元年9月19日）は7mg/L～84mg/Lとなった。

表 7.4-6に示すとおり、降雨後（令和元年9月9日）のNo.3とNo.4では水の濁りが確認されたため、令和2年1月～9月の期間中に1回/月程度の頻度で、降雨後（出水時）に水質の状況を確認した。

なお、令和2年5月20日以降は濁水対策を施した後の浮遊物質（SS）である。濁水対策の検討内容は「8. 予測結果の検証及び追加環境保全対策の検討 8.4. 水質」で詳述する。

表 7.4-5 事後調査結果（水質：SS）

調査実施日	天候 <sup>※1</sup>	浮遊物質（SS）（mg/L）		
		No.3 銅谷水路	No.4 八沢川	No.6 開発区域内ため池
令和元年9月9日	降雨後 (出水時)	720	360	13
令和元年9月19日	晴天時 (平水時)	10	7	84
令和2年2月17日	降雨後 (出水時)	23	21	3
令和2年3月11日	降雨後 (出水時)	61	40	4
令和2年4月2日	降雨後 (出水時)	180	36	3
令和2年4月14日	降雨後 (出水時)	180	40	3
令和2年5月20日 <sup>※2</sup>	降雨後 (出水時)	70	340	6
令和2年6月20日 <sup>※2</sup>	降雨後 (出水時)	99	400	25
令和2年6月26日 <sup>※2</sup>	降雨後 (出水時)	11	1,800	19
令和2年7月15日 <sup>※2</sup>	降雨後 (出水時)	90	82	3
令和2年9月2日 <sup>※2</sup>	降雨後 (出水時)	14	590	6
令和2年10月15日 <sup>※2</sup>	晴天時 (平水時)	12	4	— <sup>※3</sup>

※1：工事現場に設置した雨量計（以下、現場雨量計）による前々日から当日までの降水量は、後述する表 7.4-8に示すとおりである。

※2：令和2年5月20日以降は濁水対策を施した後の浮遊物質（SS）である。濁水対策の経緯や内容は「8. 予測結果の検証及び追加環境保全対策の検討 8.4. 水質」で詳述する。

※3：下流河川の水質を確認したため、No.6では実施していない。




















表 7.4-6(1) 調査地点の状況（水質）（1/2）

調査実施日	No.3 銅谷水路	No.4 八沢川	No.6 開発区域内ため池
令和元年 9月9日 降雨後（出水時）			
※令和元年 9月19日 晴天時（平水時）			
令和2年 2月17日 降雨後（出水時）			
令和2年 3月11日 降雨後（出水時）			
令和2年 4月2日 降雨後（出水時）			
令和2年 4月14日 降雨後（出水時）			

※：対象事業計画地外において樹木伐採等がなされており、樹木伐採地付近から No.6 開発区域内ため池へ土砂が流入したものと考えられる（詳細は、「8. 予測結果の検証及び追加環境保全対策の検討 8.4. 水質」を参照）。

表 7.4-6(2) 調査地点の状況（水質）(2/2)

調査実施日	No.3 銅谷水路	No.4 八沢川	No.6 開発区域内ため池
※1 令和2年5月20日 降雨後（出水時）			
※1 令和2年6月20日 降雨後（出水時）			
※1 令和2年6月26日 降雨後（出水時）			
※1 令和2年7月15日 降雨後（出水時）			
※1 令和2年9月2日 降雨後（出水時）			
※1 令和2年10月15日 晴天時（平水時）			—※2

※1：令和2年5月20日以降は、濁水対策を施した後の地点状況である。

※2：下流河川の水質調査のため、No.6では実施していない。

## ② 流量

流量は、表 7.4-7に示すとおりである。

降雨時の流量は、No. 3 で 0.0045～0.3461 m<sup>3</sup>/s, No. 4 で 0.0246～1.3700 m<sup>3</sup>/s, No. 6 で 0.0000～0.0014 m<sup>3</sup>/s となった。

表 7.4-7 事後調査結果（水質：流量）

調査実施日	天候 <sup>※1</sup>	流量 (m <sup>3</sup> /s)		
		No. 3 銅谷水路	No. 4 八沢川	No. 6 開発区域内ため池
令和元年 9 月 9 日	降雨後 (出水時)	0.3461	0.0318	0.0000
令和元年 9 月 19 日	晴天時 (平水時)	0.0074	0.0246	0.0000
令和 2 年 2 月 17 日	降雨後 (出水時)	0.1220	0.1220	0.0014
令和 2 年 3 月 11 日	降雨後 (出水時)	0.0348	0.1190	0.0002
令和 2 年 4 月 2 日	降雨後 (出水時)	0.0561	0.1380	0.0002
令和 2 年 4 月 14 日	降雨後 (出水時)	0.0595	0.1850	0.0002
令和 2 年 5 月 20 日 <sup>※2</sup>	降雨後 (出水時)	0.0864	0.1240	0.0004
令和 2 年 6 月 20 <sup>※2</sup>	降雨後 (出水時)	0.0292	0.0515	0.0000
令和 2 年 6 月 26 日 <sup>※2</sup>	降雨後 (出水時)	0.0279	0.0699	0.0001
令和 2 年 7 月 15 日 <sup>※2</sup>	降雨後 (出水時)	0.0045	1.3700	0.0007
令和 2 年 9 月 2 日 <sup>※2</sup>	降雨後 (出水時)	0.0540	0.0270	0.0001
令和 2 年 10 月 15 日 <sup>※2</sup>	晴天時 (平水時)	0.0077	0.0516	— <sup>※3</sup>

※1：現場雨量計による前々日から当日までの降水量は、表 7.4-8に示すとおりである。

※2：令和 2 年 5 月 20 日以降は濁水対策を施した後の浮遊物質質量 (SS) である。濁水対策の経緯や内容は「8. 予測結果の検証及び追加環境保全対策の検討 8.4. 水質」で詳述する。

※3：下流河川の水質調査のため、No. 6 では実施していない。

### ③ 降雨量

現場観測計による降雨量（調査日当日，前日，前々日）は，表 7.4-8に示すとおりである。

表 7.4-8 降雨量

天候 ●：調査日	年月日	現場雨量計		(参考) 泉ヶ岳アメダス	
		日合計雨量 (mm/日)	1時間最大雨量 (mm/h)	日合計雨量 (mm/日)	1時間最大雨量 (mm/h)
降雨後 (出水時) ●	令和元年9月7日	0.0	0.0	0.0	0.0
	9月8日	0.0	0.0	0.0	0.0
	9月9日	37.0	13.5	27.5	11.5
晴天時 (平水時) ●	令和元年9月17日	0.5	0.5	0.0	0.0
	9月18日	0.0	0.0	0.0	0.0
	9月19日	0.0	0.0	0.0	0.0
降雨後 (出水時) ●	令和2年2月15日	0.0	0.0	0.0	0.0
	2月16日	8.0	2.0	10.0	2.5
	2月17日	1.5	1.0	3.5	2.5
降雨後 (出水時) ●	令和2年3月9日	0.0	0.0	0.5	0.5
	3月10日	26.5	6.5	34.0	7.5
	3月11日	0.0	0.0	1.5	0.5
降雨後 (出水時) ●	令和2年3月31日	0.0	0.0	0.0	0.0
	4月1日	22.5	4.0	31.5	7.5
	4月2日	4.5	2.5	10.5	7.5
降雨後 (出水時) ●	令和2年4月12日	0.0	0.0	0.0	0.0
	4月13日	28.5	4.0	32.5	3.5
	4月14日	1.5	0.5	0.5	0.5
降雨後 (出水時) ●	令和2年5月18日	5.0	1.0	3.5	1.0
	5月19日	51.5	5.0	60.5	5.5
	5月20日	11.0	3.0	16.0	3.5
降雨後 (出水時) ●	令和2年6月18日	0.0	0.0	0.0	0.0
	6月19日	23.0	8.0	5.5	3.5
	6月20日	0.0	0.0	0.0	0.0
降雨後 (出水時) ●	令和2年6月24日	0.0	0.0	1.5	0.5
	6月25日	2.5	0.5	6.0	1.0
	6月26日	17.0	5.5	24.5	8.0
降雨後 (出水時) ●	令和2年7月13日	4.5	1.5	7.5	1.5
	7月14日	49.0	9.0	67.5	10.0
	7月15日	30.0	10.5	50.5	8.5
降雨後 (出水時) ●	令和2年8月31日	7.5	3.0	23.5	8.5
	9月1日	16.5	3.0	76.5	8.0
	9月2日	10.5	3.0	50.5	10.5
晴天時 (平水時) ●	令和2年10月13日	0.5	0.5	0.0	0.0
	10月14日	0.0	0.0	0.0	0.0
	10月15日	0.0	0.0	0.0	0.0

## 7.4.2. 環境の状況に係る対象事業の状況及び対象事業による負荷の状況

### (1) 調査内容

調査内容は、表 7.4-9に示すとおりである。

表 7.4-9 調査内容（水質）

調査項目	調査内容
水質	環境保全措置の実施状況

### (2) 調査方法

調査方法は、表 7.4-10に示すとおりである。

表 7.4-10 調査方法（水質）

調査内容	調査方法
環境保全措置の実施状況	現地確認調査及び記録の確認ならびに必要なに応じてヒアリング調査を実施した。

### (3) 調査地点

調査地点は、表 7.4-11に示すとおりである。

表 7.4-11 調査地点（水質）

調査内容	調査地点
環境保全措置の実施状況	対象事業計画地内

### (4) 調査時期

調査時期は、表 7.4-12に示すとおりである。

表 7.4-12 調査時期（水質）

調査内容	調査時期
環境保全措置の実施状況	平成30年12月1日～令和2年11月30日

### (5) 調査結果

環境保全措置の実施状況は、「5. 環境の保全及び創造のための措置の実施状況 5.4. 水質」に示すとおりである。

## 7.5. 水象



## 7.5. 水象（環境の状況）

### (1) 調査内容

調査内容は、表 7.5-1に示すとおりである。

表 7.5-1 調査内容（水象）

調査項目	調査内容
水象	変更後の地形、樹木伐採後の状態、工作物等の出現に係る地下水・湧水 （地下水位の変化、湧水量の変化） ※：本報告書では、工事着手前（大規模な地形の変更が行われる前）の地下水位、 湧水量の変化について整理した。

### (2) 調査方法

調査方法は、表 7.5-2に示すとおりである。

表 7.5-2 調査方法（水象）

調査内容	調査方法
変更後の地形、樹木伐採後の状態、工作物等の出現に係る地下水・湧水（地下水位の変化、湧水量の変化）	圧力式地下水位計、湧水水源水位の検尺等を用いて測定する方法とした。

### (3) 調査地点

調査地点は表 7.5-3、表 7.5-4及び図 7.5-1に示すとおり、地下水位の変動は5地点、湧水の変動は1地点で実施した。

なお、調査地点は、評価書で整理された利用分布状況（評価書 表 8.5-13 及び表 8.5-14）のうち、東工区周辺に位置し、地下水位または湧水が観測可能な箇所を選定した。

表 7.5-3 調査地点（水象：地下水位（井戸））

調査内容	調査地点	用途	地盤面 標高(m)	管立上がり (GL m)	管天端 標高(m)	井戸の 深さ(GL m)
変更後の地形、樹木伐採後の状態、工作物等の出現に係る地下水・湧水（地下水位の変化）			73.70	0.40	74.10	
			82.50	0.55	83.05	
			78.80	0.80	79.60	
			70.20	0.00	70.20	
			79.00	0.60	79.60	

表 7.5-4 調査地点（水象：湧水）

調査内容	調査地点	用途	備考
変更後の地形、樹木伐採後の状態、工作物等の出現に係る地下水・湧水（湧水量の変化）			湧水地近傍のたまり水の水位を計測した。

### (4) 調査時期

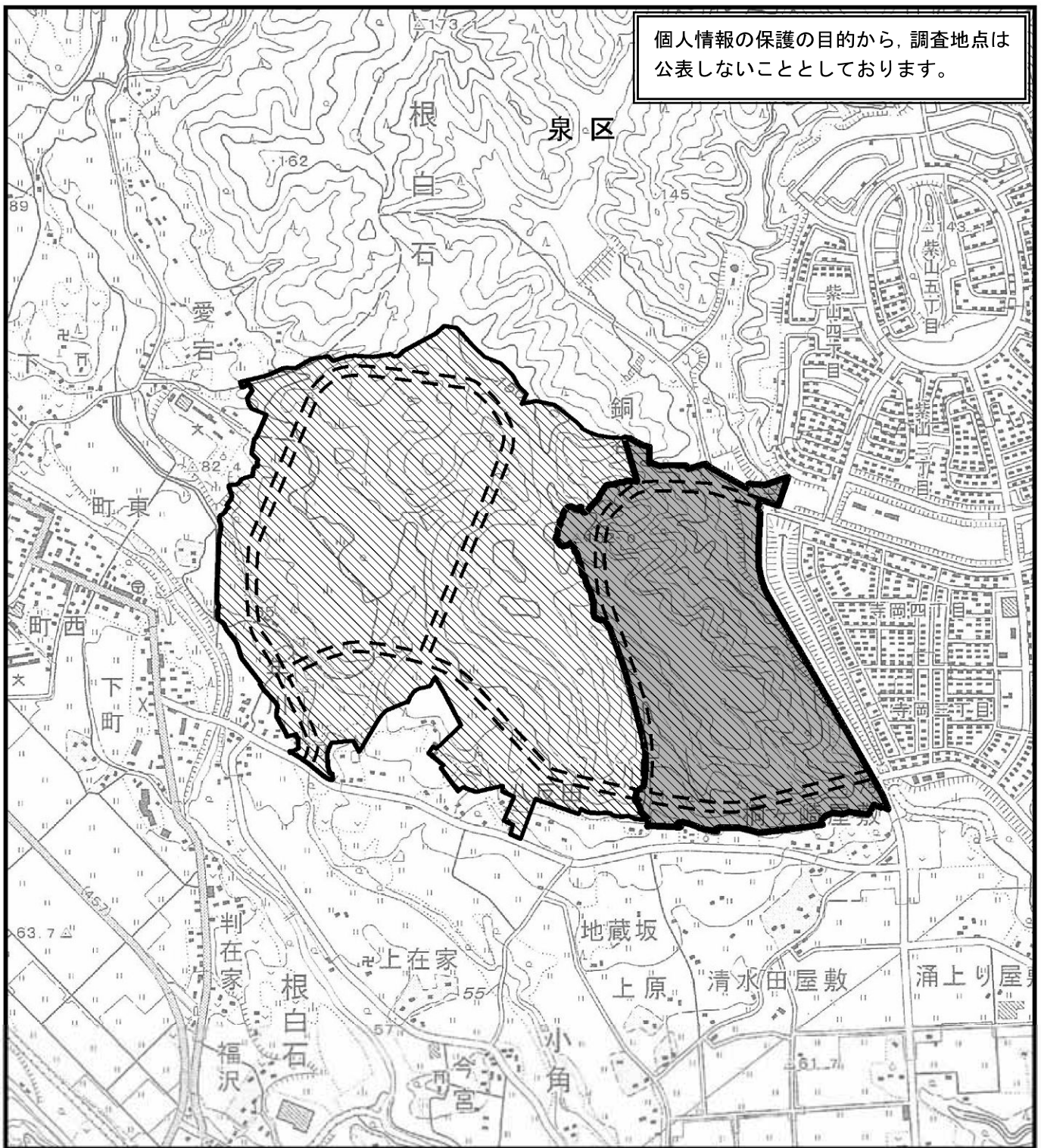
調査期間は、表 7.5-5に示すとおりである。

表 7.5-5 調査時期（水象）

調査内容	調査期間	備考
変更後の地形、樹木伐採後の状態、工作物等の出現に係る地下水・湧水（地下水位の変化）	平成 28 年 11 月 14 日～平成 29 年 10 月 27 日	工事着手前（大規模な地形の変更が行われる前）の1年間



個人情報の保護の目的から、調査地点は公表しないこととしております。



凡例

: 対象事業計画地

: 東工区

: 対象事業計画地内に計画される主要道路

地下水・湧水の分布状況

● : 井戸

▲ : 湧水

※ ●, ▲ は調査地点であることを示す。



S=1:15,000

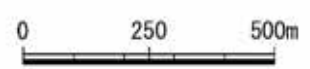


図 7.5-1 水象調査地点  
(地形改変, 樹木伐採,  
地下水・湧水)

(5) 調査結果

ア 地下水

地下水位の調査結果は、表 7.5-6及び図 7.5-2に示すとおりである。

調査期間中の水位は、[ ]で GL-1.40m~2.86m, [ ]で GL-6.23m~7.26m, [ ]で GL-5.88m~7.46m, [ ]で GL-7.10m~8.10m, [ ]で GL±0.00m~-0.76m の範囲で変動していた。

なお、調査地点ごとの水位変動は、図 7.5-3~図 7.5-7に示すとおりである。

表 7.5-6 調査結果（水象：地下水位（工事着手前））

調査地点	調査結果			
	期間最高水位 (GL m)	最高水位を 記録した日	期間最低水位 (GL m)	最低水位を 記録した日
[ ]	-1.40	平成 29 年 10 月 23 日	-2.86	平成 29 年 3 月 13 日, 14 日
[ ]	-6.23	平成 29 年 10 月 23 日	-7.26	平成 29 年 3 月 14 日
[ ]	-5.88	平成 29 年 10 月 23 日	-7.46	平成 29 年 5 月 13 日
[ ]	-7.10	平成 29 年 10 月 23 日	-8.10	平成 29 年 4 月 10 日
[ ]	±0.00	平成 29 年 10 月 23 日	-0.68	平成 29 年 7 月 21 日, 22 日

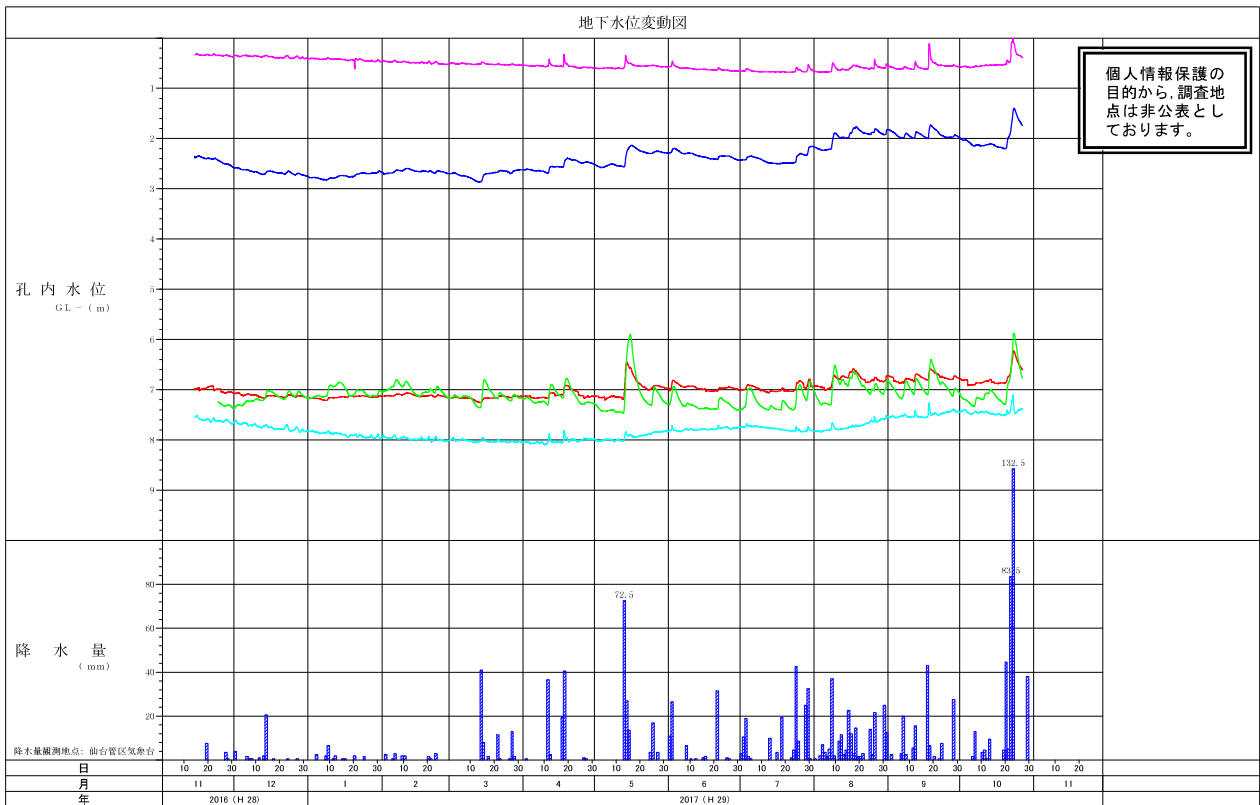


図 7.5-2 全地点の地下水位の変動（水象：工事着手前）

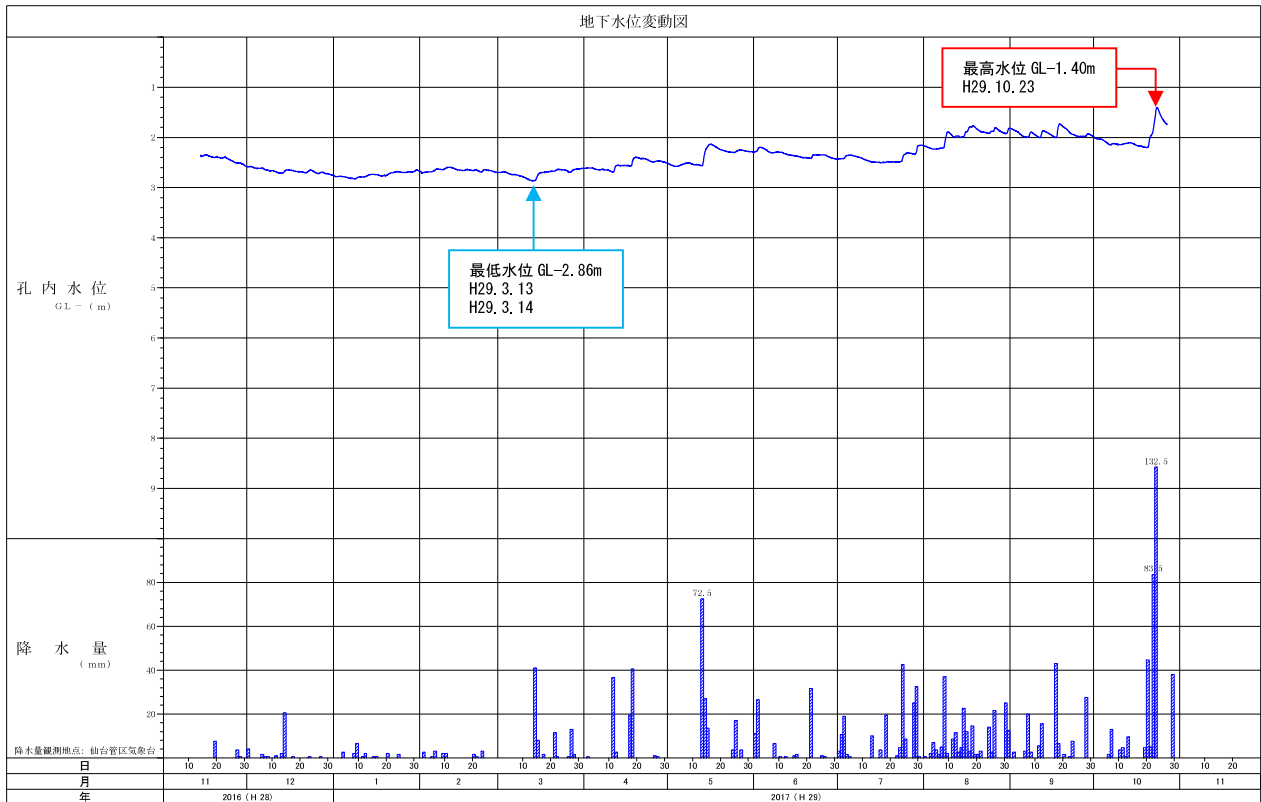


図 7.5-3 における地下水水位の変動

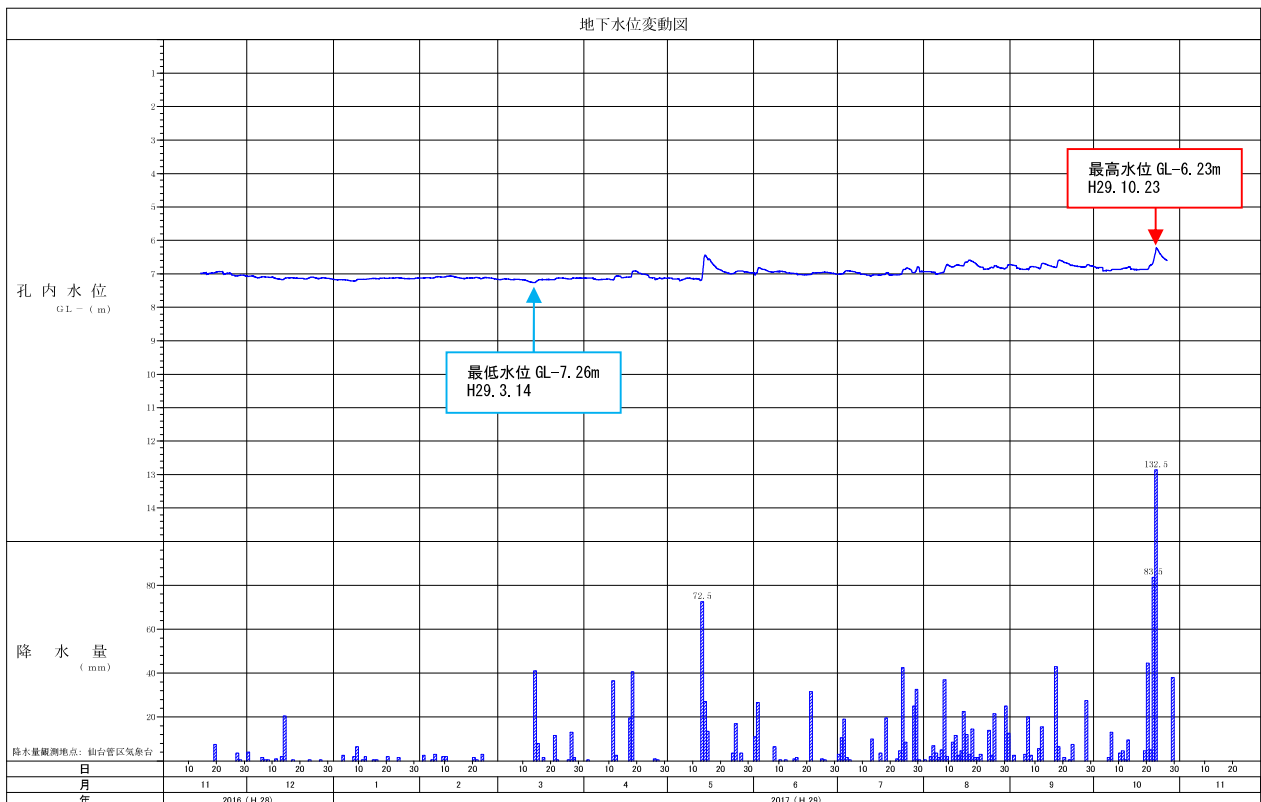


図 7.5-4 における地下水水位の変動

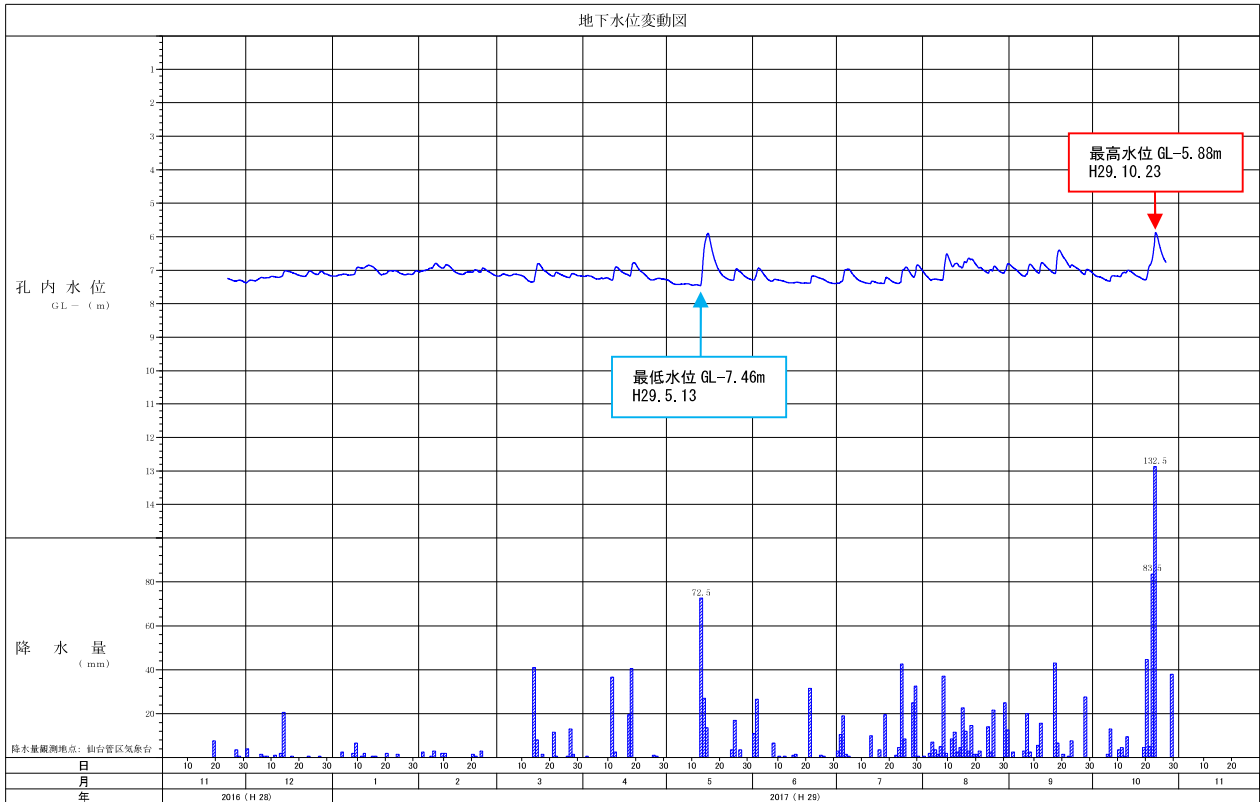


図 7.5-5 における地下水位の変動

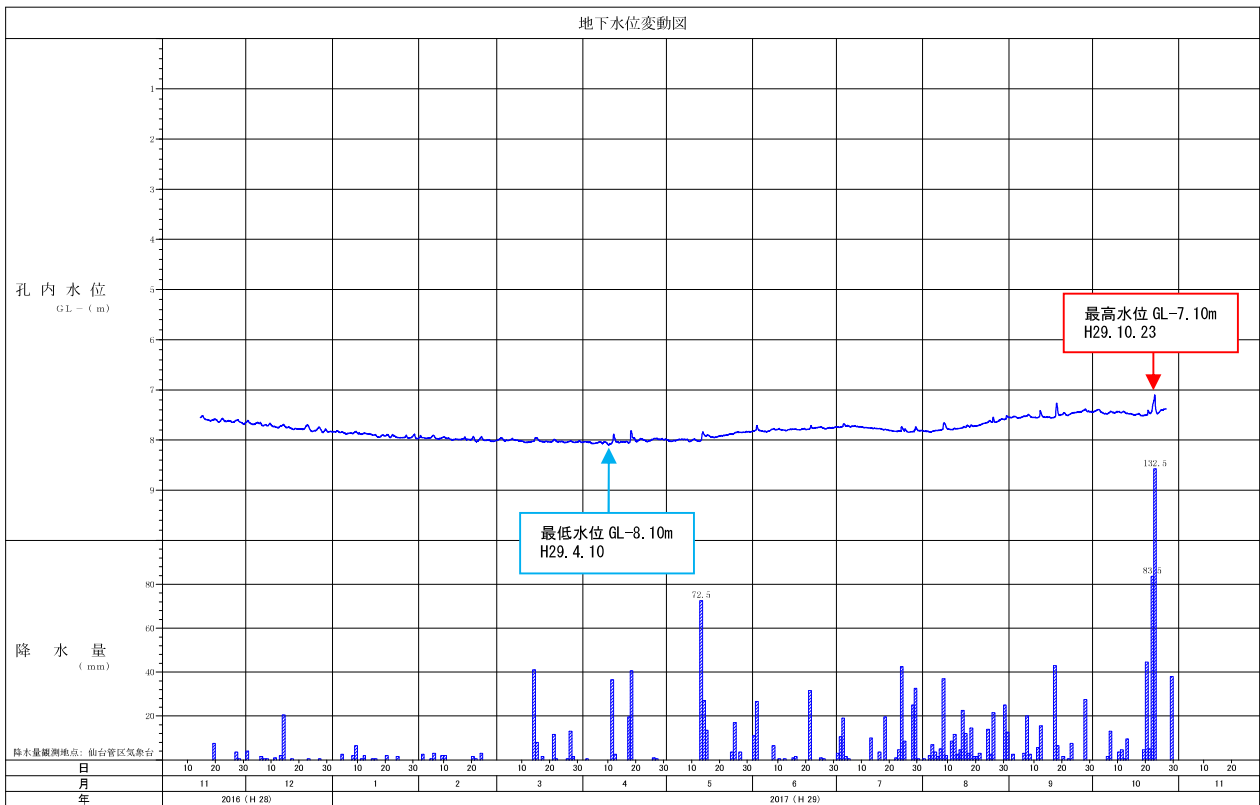


図 7.5-6 における地下水位の変動

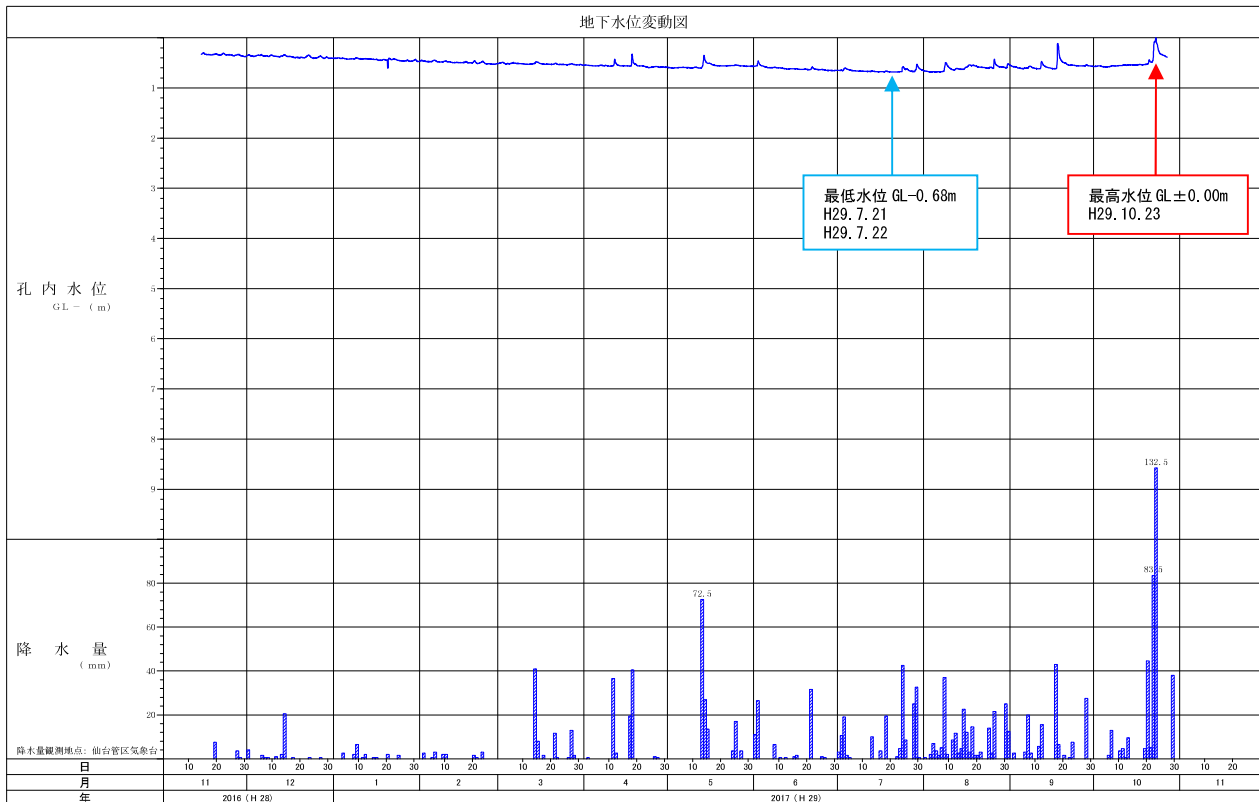


図 7.5-7 における地下水位の変動

### イ 湧水

湧水の調査結果は、表 7.5-7に示すとおりである。

調査は概ね月 1 回の頻度で実施した。調査の結果、水位の変動は見られなかった。

表 7.5-7 調査結果（水象：湧水（ ）：工事着手前）

観測日		水位 (m)	前回観測時との水位差 (m)
平成 28 年	11 月 14 日	1.40	—
	11 月 30 日	1.40	±0.00
	12 月 20 日	1.40	±0.00
平成 29 年	1 月 20 日	1.40	±0.00
	2 月 24 日	1.41	+0.01
	3 月 29 日	1.41	±0.00
	4 月 28 日	1.40	-0.01
	5 月 29 日	1.40	±0.00
	6 月 26 日	1.40	±0.00
	7 月 31 日	1.40	±0.00
	8 月 28 日	1.39	-0.01
	9 月 27 日	1.40	+0.01
	10 月 27 日	1.40	±0.00

## 7.6. 植物



## 7.6. 植物

### 7.6.1. 環境の状況

#### (1) 調査内容

調査内容は、表 7.6-1に示すとおりである。

表 7.6-1 調査内容（植物）

調査項目	調査内容
植物	切土・盛土・掘削等に係る植物の状況 ・植物相及び注目すべき種

#### (2) 調査方法

調査方法は、表 7.6-2に示すとおりである。

表 7.6-2 調査方法（植物）

調査内容		調査方法
切土・盛土・掘削等に係る植物の状況	植物相	植物相を対象として調査範囲内を踏査し、生育状況及び個体数、生育環境を確認した。
	注目すべき種	注目すべき種を対象として調査範囲内を踏査し、生育状況及び個体数、生育環境を確認した。

#### (3) 調査地点

調査地点は表 7.6-3及び図 7.6-1、踏査ルートは図 7.6-2に示すとおりである。

表 7.6-3 調査地点（植物）

調査内容	調査地域及び調査地点
植物相	変更区域を除く東工区の周辺 200m の範囲とした。
注目すべき種	注目すべき種が確認された箇所を基本とし、植物相と同様に変更区域を除く東工区の周辺 200m の範囲とした。



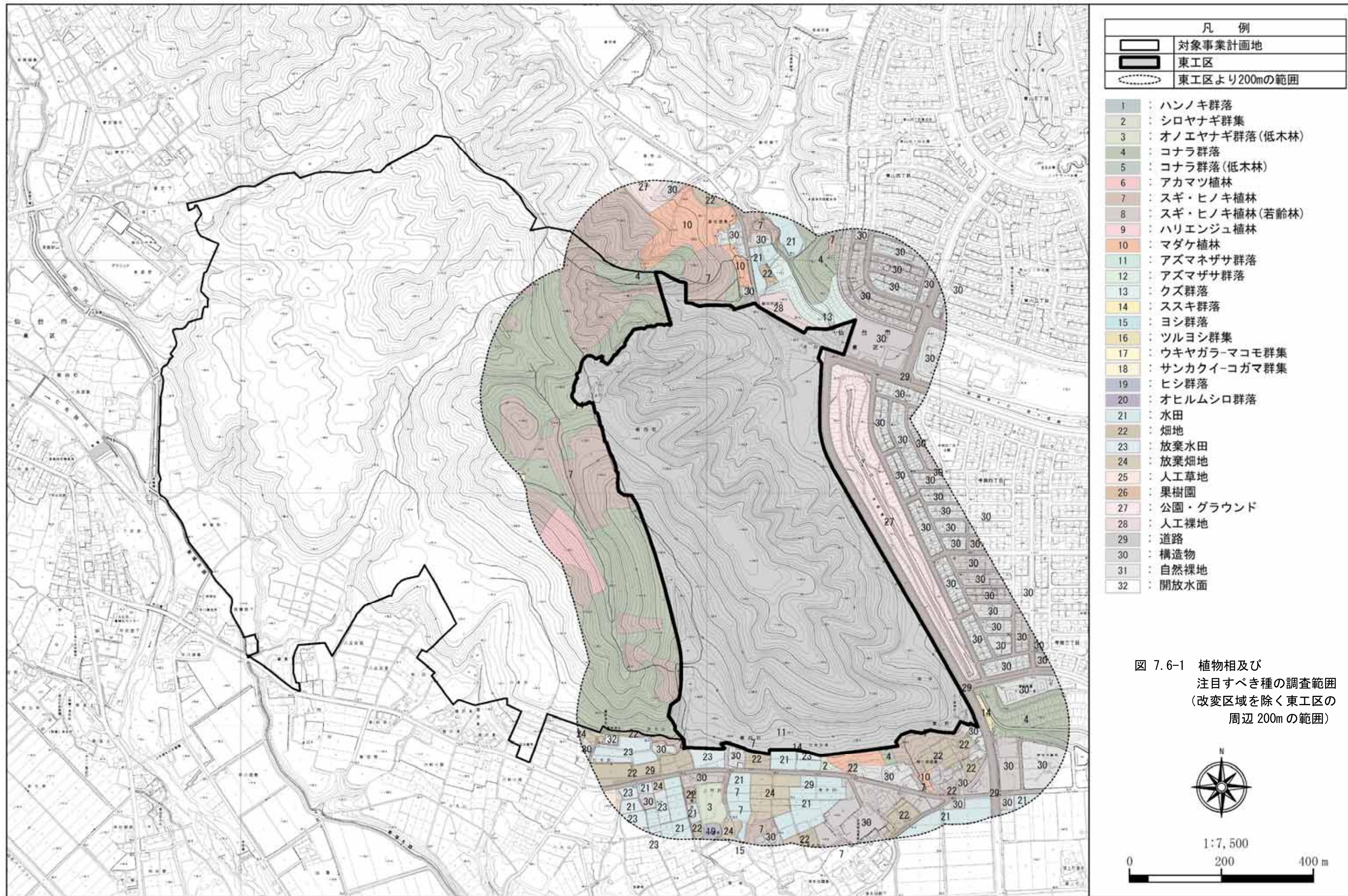
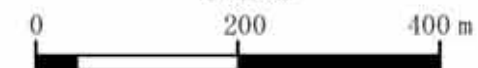


図 7.6-1 植物相及び  
注目すべき種の調査範囲  
(改変区域を除く東工区の  
周辺 200m の範囲)



1:7,500



注目すべき種の保護の目的から、確認位置等に関わる情報は公表しないこととしております。

凡 例	
	早春季踏査ルート
	春季踏査ルート
	夏季踏査ルート
	秋季踏査ルート
	対象事業計画地
	東工区
	東工区工事17より200mの範囲

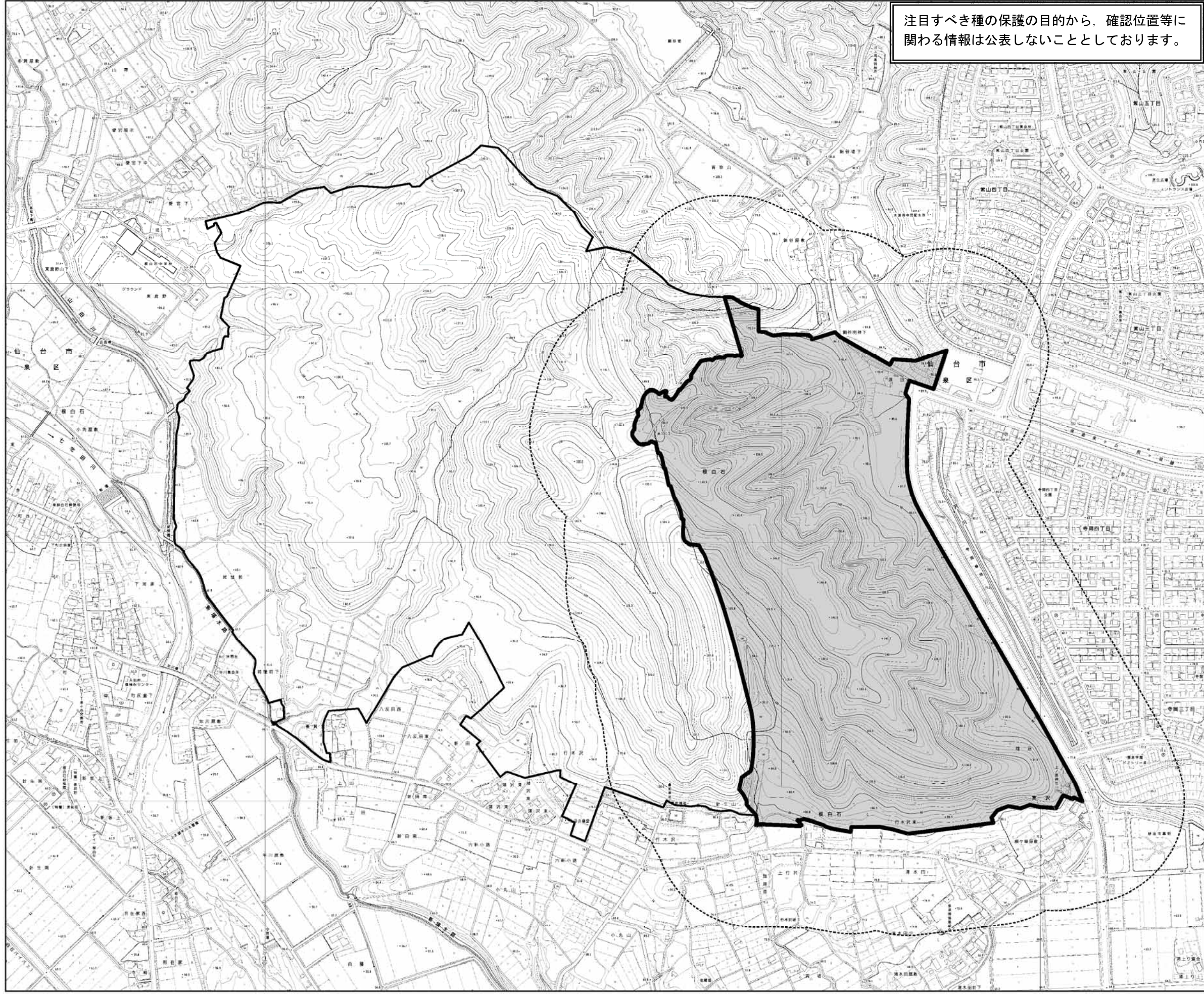
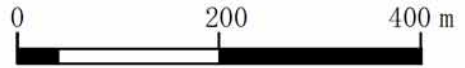


図 7.6-2 踏査ルート



1:7,500



(4) 調査時期

調査時期は、表 7.6-4に示すとおりである。

表 7.6-4 調査時期（植物）

調査内容	調査時期	
	・植物相 ・注目すべき種	早春季
春季		令和2年5月7日
夏季		令和元年8月8日
秋季		令和元年10月10日

(5) 調査結果

ア 植物相

植物相の分類群は表 7.6-5、確認種は表 7.6-6(1)～(15)に示すとおりである。

事後調査の結果、早春季に 57 科 179 種、春季に 87 科 351 種、夏季に 103 科 398 種、秋季に 110 科 431 種、合計 120 科 627 種の植物が確認された。

ではモミヤコナラ、イヌシデなどの木本や、ヒトリシズカやタガネソウ、チゴユリなどの草本が確認された。

ではスベリヒユやハキダメギクなどの畑地雑草、コナギやオモダカなどの水田雑草が確認された。

ではエゾノギシギシやシロツメクサ、アメリカセンダングサ、カモガヤなど、帰化植物が多く確認された。

表 7.6-5 確認された植物相の分類群（植物）

分類群				早春季		春季		夏季		秋季		合計	
				科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数
シダ植物				3	13	7	31	11	32	10	37	12	49
種子植物	裸子植物			4	5	4	5	4	4	4	5	4	5
	被子植物	双子葉植物	離弁花類	30	82	50	173	54	184	61	207	63	286
			合弁花類	13	44	18	80	21	91	23	106	25	149
		単子葉植物		7	35	8	62	13	87	12	76	16	138
合 計				57	179	87	351	103	398	110	431	120	627

表 7.6-6(1) 確認種(植物)※(1/15)

No	分類群	科名	種名	学名	早春季	春季	夏季	秋季	
1	シダ植物	ヒカゲノカズラ	ホソバトウゲシハ	<i>Lycopodium serratum</i> var. <i>serratum</i>	○			○	
2		イワヒバ	クワマコケ	<i>Selaginella remotifolia</i>			○		
3		トクサ	スキナ	<i>Equisetum arvense</i>	○	○	○	○	
4		ゼンマイ	ゼンマイ	<i>Osmunda japonica</i>		○	○	○	
5		コハノイシカクマ	イヌシダ	<i>Dennstaedtia hirsuta</i>		○			
6			オウレンシダ	<i>Dennstaedtia wilfordii</i>			○	○	
7			ワラビ	<i>Pteridium aquilinum</i> var. <i>latiusculum</i>		○	○	○	
8		ミスワラビ	クジヤクシダ	<i>Adiantum pedatum</i>				○	
9			イカネゼンマイ	<i>Coniogramme intermedia</i>			○	○	
10		チャセンシダ	トラノオシダ	<i>Asplenium incisum</i>			○	○	
11		シカシラ	シカシラ	<i>Struthiopteris niponica</i>		○	○	○	
12		オシダ	ホソバナライシダ	<i>Arachniodes borealis</i>	○	○	○	○	
13			リョウモンシダ	<i>Arachniodes standishii</i>	○	○	○	○	
14			ヤマソテツ	<i>Cyrtomium fortunei</i>			○	○	
15			ヤマソテツ	<i>Cyrtomium fortunei</i> var. <i>clivicola</i>	○	○	○		
16			ミサキカクマ	<i>Dryopteris chinensis</i>			○	○	
17			オシダ	<i>Dryopteris crassirhizoma</i>	○	○	○	○	
18			ヘニシダ	<i>Dryopteris erythrosora</i>	○	○	○	○	
19			クマワラビ	<i>Dryopteris lacera</i>	○	○		○	
20			ミヤマヘニシダ	<i>Dryopteris monticola</i>				○	
21			トウコクシダ	<i>Dryopteris nipponensis</i>	○	○		○	
22			ミヤマイタチシダ	<i>Dryopteris sabaiei</i>		○		○	
23			タニホコ	<i>Dryopteris tokyoensis</i>			○	○	
24			オクマワラビ	<i>Dryopteris uniformis</i>	○	○	○	○	
25			ヤマイタチシダ	<i>Dryopteris varia</i> var. <i>setosa</i>	○		○		
26			イワシロイノテ	<i>Polystichum ovatopaleaceum</i> var. <i>coraiense</i>		○	○	○	
27			サカガイノテ	<i>Polystichum retrosopaleaceum</i>	○	○	○	○	
28			ジユウモンシダ	<i>Polystichum tripterum</i>	○	○	○	○	
29			ヒメシダ	ミヅシダ	<i>Stegnogramma pozoi</i> ssp. <i>mollissima</i>		○	○	○
30				ケシクシダ	<i>Thelypteris decursivepinnata</i>		○		
31				ハリカネワラビ	<i>Thelypteris japonica</i>			○	○
32		ヤワシダ		<i>Thelypteris laxa</i>				○	
33		ヒメシダ		<i>Thelypteris palustris</i>		○	○	○	
34		メシダ	カラカサイヌワラビ	<i>Athyrium clivicola</i>		○		○	
35			サトメシダ	<i>Athyrium deltoideifrons</i>			○	○	
36			ヌリワラビ	<i>Athyrium mesosorum</i>				○	
37			イヌワラビ	<i>Athyrium niponicum</i>		○	○	○	
38			ヤマイヌワラビ	<i>Athyrium vidalii</i>		○	○	○	
39			ヘビノネコサ	<i>Athyrium yokoscense</i>		○	○	○	
40			イッポノワラビ	<i>Cornopteris crenuloserrulata</i>		○			
41			ホソバシメシダ	<i>Deparia conilii</i>		○	○		
42			シメシダ	<i>Deparia japonica</i>				○	
43			ウモウイノテ	<i>Deparia pycnosora</i> var. <i>albosquamata</i>		○			

※:種名や学名及びその記載順は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成30年度生物リスト」(河川環境データベース 国土交通省 2018年)に準拠した。

表 7.6-6(2) 確認種(植物)※(2/15)

No	分類群	科名	種名	学名	早春季	春季	夏季	秋季
44	シダ植物	シダ	ミヤマシダ	<i>Deparia pycnosora</i> var. <i>pycnosora</i>		○		
45			キヨオキシダ	<i>Diplazium squamigerum</i>				○
46			イヌカシソク	<i>Matteuccia orientalis</i>		○		
47			クサソテ	<i>Matteuccia struthiopteris</i>		○		
48			コウヤワラビ	<i>Onoclea sensibilis</i> var. <i>interrupta</i>		○	○	○
49			ウラボシ	ヒロードシダ	<i>Pyrosia linearifolia</i>			○
50	裸子植物	マツ	モミ	<i>Abies firma</i>	○	○	○	○
51			アカマツ	<i>Pinus densiflora</i>	○	○		○
52		スギ	スギ	<i>Cryptomeria japonica</i>	○	○	○	○
53		ヒノキ	ヒノキ	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	○	○	○	○
54		イチイ	カヤ	<i>Torreya nucifera</i>	○	○	○	○
55	離弁花類	クルミ	オコグロミ	<i>Juglans ailanthifolia</i>		○	○	○
56		ヤナギ	ヤマナシ	<i>Populus sieboldii</i>		○		
57			ハッコヤナギ	<i>Salix bakko</i>		○		
58			イヌコリヤナギ	<i>Salix integra</i>		○		○
59			シロヤナギ	<i>Salix jessoensis</i>		○	○	○
60			オノエヤナギ	<i>Salix sachalinensis</i>		○	○	
61		カハノキ	ケヤマハノキ	<i>Alnus hirsuta</i>				○
62			カワシバ	<i>Carpinus cordata</i>			○	○
63			アカシデ	<i>Carpinus laxiflora</i>		○	○	○
64			イヌシデ	<i>Carpinus tschonoskii</i>		○	○	○
65			ハシバミ	<i>Corylus heterophylla</i> var. <i>thunbergii</i>				○
66			ツリハシバミ	<i>Corylus sieboldiana</i>		○	○	○
67			アキダ	<i>Ostrya japonica</i>			○	○
68		ブナ	クリ	<i>Castanea crenata</i>	○	○	○	○
69			イヌブナ	<i>Fagus japonica</i>			○	○
70			アカカシ	<i>Quercus acuta</i>		○		
71			ミスナラ	<i>Quercus crispula</i>			○	○
72			アヲカシ	<i>Quercus glauca</i>	○	○		○
73			シラカシ	<i>Quercus myrsinaefolia</i>	○			
74			コナラ	<i>Quercus serrata</i>	○	○	○	○
75			アヘマキ	<i>Quercus variabilis</i>				○
76	ニレ	エノキ	<i>Celtis sinensis</i> var. <i>japonica</i>				○	
77		ケヤキ	<i>Zelkova serrata</i>		○	○	○	
78	クワ	ヒメコウゾ	<i>Broussonetia kazinoki</i>		○	○	○	
79		クワケサ	<i>Fatoua villosa</i>			○	○	
80		カナムグサ	<i>Humulus japonicus</i>			○	○	
81		カラハナソウ	<i>Humulus lupulus</i> var. <i>cordifolius</i>	○	○	○	○	
82		ヤマクワ	<i>Morus australis</i>		○	○	○	
83	イラクサ	ヤブマオ	<i>Boehmeria japonica</i> var. <i>longispica</i>			○		
84		メヤブマオ	<i>Boehmeria platanifolia</i>				○	
85		アカソ	<i>Boehmeria silvestrii</i>		○	○	○	
86		コアカソ	<i>Boehmeria spicata</i>			○		

※:種名や学名及びその記載順は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成30年度生物リスト」(河川環境データベース 国土交通省 2018年)に準拠した。

表 7.6-6(3) 確認種(植物)※(3/15)

No	分類群	科名	種名	学名	早春季	春季	夏季	秋季	
87	離弁花類	イラクサ	ウツハミソウ	<i>Elatostema umbellatum</i> var. <i>majus</i>		○	○	○	
88			ムコイラクサ	<i>Laportea bulbifera</i>		○		○	
89			アオミス	<i>Pilea pumila</i>				○	
90	ヒキクダ	ツクハネ	ツクハネ	<i>Buckleya lanceolata</i>			○	○	
91			カナヒキソウ	<i>Thesium chinense</i>		○			
92	タデ		ミスヒキ	<i>Antenoron filiforme</i>		○	○	○	
93			オオメタデ	<i>Persicaria lapathifolia</i>				○	
94			イヌタデ	<i>Persicaria longiseta</i>				○	○
95			ハナタデ	<i>Persicaria posumbu</i>				○	○
96			アキノウナギツカミ	<i>Persicaria sieboldii</i>					○
97			ミヅソバ	<i>Persicaria thunbergii</i>			○	○	○
98			ハイチヤナギ	<i>Polygonum arenastrum</i>				○	○
99			ミチヤナギ	<i>Polygonum aviculare</i>					○
100			クイナトリ	<i>Reynoutria japonica</i> var. <i>uzensis</i>			○	○	○
101			スイハ	<i>Rumex acetosa</i>		○	○		○
102			ヒメスイハ	<i>Rumex acetosella</i>		○		○	
103			ナガハキシキシ	<i>Rumex crispus</i>				○	
104			キシキシ	<i>Rumex japonicus</i>				○	
105	エゾノキシキシ	<i>Rumex obtusifolius</i>		○	○	○	○		
106	ヤマコホウ	ヨウシュヤマコホウ	<i>Phytolacca americana</i>			○	○		
107	サクロソウ	サクロソウ	<i>Mollugo pentaphylla</i>				○		
108	スベリヒユ	スベリヒユ	<i>Portulaca oleracea</i>			○	○		
109	タデシロ		ノミツヅリ	<i>Arenaria serpyllifolia</i>			○		
110			オランダミミナグサ	<i>Cerastium glomeratum</i>		○	○	○	
111			ミミナグサ	<i>Cerastium holosteoides</i> var. <i>angustifolium</i>			○	○	
112			ツメクサ	<i>Sagina japonica</i>				○	
113			ノミソマ	<i>Stellaria alsine</i> var. <i>undulata</i>		○	○	○	○
114			ウシハコベ	<i>Stellaria aquatica</i>					○
115			コハコベ	<i>Stellaria media</i>		○	○	○	○
116			ミドリハコベ	<i>Stellaria neglecta</i>			○		
117	アサギ		シロギ	<i>Chenopodium album</i>			○	○	
118			コウシュウアザミソウ	<i>Chenopodium pumilio</i>				○	
119	ヒユ		ヒカゲイノコスチ	<i>Achyranthes bidentata</i> var. <i>japonica</i>				○	
120			ヒナタイノコスチ	<i>Achyranthes bidentata</i> var. <i>tomentosa</i>				○	○
121			イヌヒユ	<i>Amaranthus lividus</i>					○
122	モクレン		ホオノキ	<i>Magnolia hypoleuca</i>		○	○	○	
123			コフシ	<i>Magnolia praecocissima</i>		○	○	○	
124	マツフサ	マツフサ	<i>Schisandra repanda</i>		○	○	○		
125	クスノキ		オオバクロモジ	<i>Lindera umbellata</i> ssp. <i>membranacea</i>		○	○	○	
126			シロガモ	<i>Neolitsea sericea</i>		○			
127	カツラ	カツラ	<i>Cercidiphyllum japonicum</i>		○	○	○		
128	キンボウケ		ニリンソウ	<i>Anemone flaccida</i>		○	○		
129			アズマイチゲ	<i>Anemone raddeana</i>		○			

※:種名や学名及びその記載順は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成30年度生物リスト」(河川環境データベース 国土交通省 2018年)に準拠した。

表 7.6-6(4) 確認種(植物)※(4/15)

No	分類群	科名	種名	学名	早春季	春季	夏季	秋季	
130	離弁花類	キンポウゲ	オウマキ	<i>Aquilegia flavellata</i> var. <i>flavellata</i>			○		
131			リュウキンカ	<i>Caltha palustris</i> var. <i>nipponica</i>	○	○			
132			オオバショウマ	<i>Cimicifuga acerina</i>		○		○	
133			サラシナショウマ	<i>Cimicifuga simplex</i>			○	○	
134			ホトツグ	<i>Clematis apiifolia</i>		○	○	○	
135			カサグルマ	<i>Clematis patens</i>	○	○			
136			センニンソウ	<i>Clematis terniflora</i>			○		
137			トリカクサ	<i>Clematis tosaensis</i>	○	○	○	○	
138			ケキツネノホト	<i>Ranunculus cantoniensis</i>			○		
139			ウマノアシガタ	<i>Ranunculus japonicus</i>			○		
140			キツネノホト	<i>Ranunculus silerifolius</i> var. <i>glaber</i>				○	○
141			アキカマツ	<i>Thalictrum minus</i> var. <i>hypoleucum</i>			○	○	
142			ミギ	ミギ	<i>Berberis thunbergii</i>		○	○	○
143				イカリソウ	<i>Epimedium grandiflorum</i> var. <i>thunbergianum</i>	○	○	○	○
144	ヒイラギナンテン	<i>Mahonia japonica</i>		○	○		○		
145	アケビ	アケビ	<i>Akebia quinata</i>	○	○	○	○		
146		ミツバアケビ	<i>Akebia trifoliata</i>	○	○	○	○		
147	ツツラフシ	アオツツラフシ	<i>Cocculus orbiculatus</i>				○		
148	トクダミ	トクダミ	<i>Houttuynia cordata</i>	○	○	○	○		
149	センリョウ	ヒトリシズカ	<i>Chloranthus japonicus</i>	○	○	○	○		
150		フタリシズカ	<i>Chloranthus serratus</i>		○		○		
151	マタタビ	サルナシ	<i>Actinidia arguta</i>		○		○		
152		キウイフルーツ	<i>Actinidia deliciosa</i>				○		
153		マタタビ	<i>Actinidia polygama</i>			○	○	○	
154	ツバキ	ツバキ	<i>Camellia japonica</i>	○	○	○	○		
155		チャノキ	<i>Camellia sinensis</i>	○	○				
156	オトキリソウ	トモソウ	<i>Hypericum ascyron</i>		○	○			
157		オトキリソウ	<i>Hypericum erectum</i>			○	○	○	
158	ケシ	クサノオ	<i>Chelidonium majus</i> var. <i>asiaticum</i>	○	○		○		
159		ムラサキケマン	<i>Corydalis incisa</i>		○				
160		ヤマブキソウ	<i>Hylomecon japonicum</i>	○	○		○		
161	アブラナ	シロイヌナ	<i>Arabidopsis thaliana</i>	○	○				
162		ナスナ	<i>Capsella bursa-pastoris</i> var. <i>triangularis</i>	○	○		○		
163		タネツケバナ	<i>Cardamine flexuosa</i>	○	○	○			
164		ミチタネツケバナ	<i>Cardamine hirsuta</i>	○	○		○		
165		コンロンソウ	<i>Cardamine leucantha</i>			○	○		
166		オオバタネツケバナ	<i>Cardamine scutata</i>	○	○				
167		ワサビ	<i>Eutrema japonica</i>		○				
168		マクノハイナズナ	<i>Lepidium virginicum</i>		○	○	○		
169		スカシタコボウ	<i>Rorippa islandica</i>				○	○	
170	マンギク	マンギク	<i>Hamamelis japonica</i>		○	○	○		
171	ペンケイソウ	コモチマンネクサ	<i>Sedum bulbiferum</i>	○	○				
172		ツルマンネクサ	<i>Sedum sarmentosum</i>	○	○	○	○		

※:種名や学名及びその記載順は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成30年度生物リスト」(河川環境データベース 国土交通省 2018年)に準拠した。

表 7.6-6(5) 確認種(植物)※(5/15)

No	分類群	科名	種名	学名	早春季	春季	夏季	秋季		
173	離弁花類	ユキノシタ	チダケシ	<i>Astilbe microphylla</i>		○	○	○		
174			アカショウマ	<i>Astilbe thunbergii</i>		○		○		
175			トリアショウマ	<i>Astilbe thunbergii</i> var. <i>congesta</i>				○	○	
176			ネノメツク	<i>Chrysosplenium grayanum</i>		○	○			
177			ヤマネノメツク	<i>Chrysosplenium japonicum</i>		○				
178			ウツキ	<i>Deutzia crenata</i>			○	○	○	
179			ノリウツキ	<i>Hydrangea paniculata</i>			○		○	
180			コトウヅル	<i>Hydrangea petiolaris</i>				○	○	
181			イカラムシ	<i>Schizophragma hydrangeoides</i>			○		○	
182			バラ	キンミズヒキ	<i>Agrimonia japonica</i>				○	○
183				ヒメキンミズヒキ	<i>Agrimonia nipponica</i>				○	○
184				サエフリホク	<i>Amelanchier asiatica</i>					○
185				ヤマブキショウマ	<i>Aruncus dioicus</i> var. <i>tenuifolius</i>			○	○	
186				ヘビイチゴ	<i>Duchesnea chrysantha</i>		○	○		○
187				ヤブヘビイチゴ	<i>Duchesnea indica</i>		○	○	○	○
188				ヒトリ	<i>Eriobotrya japonica</i>		○			
189				ダクソツク	<i>Geum japonicum</i>			○	○	○
190				ヤマブキ	<i>Kerria japonica</i>				○	○
191				ズミ	<i>Malus toringo</i>				○	○
192	オウラジロノキ	<i>Malus tschonoskii</i>				○				
193	ヒメヘビイチゴ	<i>Potentilla centigrana</i>			○	○	○	○		
194	キンムシロ	<i>Potentilla fragarioides</i> var. <i>major</i>			○	○				
195	ミツハツチケリ	<i>Potentilla freyniana</i>			○	○		○		
196	オヘビイチゴ	<i>Potentilla sundaica</i> var. <i>robusta</i>					○			
197	カマツカ	<i>Pourthiaea villosa</i> var. <i>laevis</i>				○	○	○		
198	チョウジサクラ	<i>Prunus apetala</i>				○	○	○		
199	ウミスサクラ	<i>Prunus grayana</i>			○	○	○	○		
200	カスミサクラ	<i>Prunus verecunda</i>				○	○	○		
201	ソメイヨシノ	<i>Prunus x yedoensis</i>				○				
202	ノイバラ	<i>Rosa multiflora</i>			○	○	○	○		
203	クマイチゴ	<i>Rubus crataegifolius</i>			○	○		○		
204	ニガイチゴ	<i>Rubus microphyllus</i>			○	○	○	○		
205	モミジイチゴ	<i>Rubus palmatus</i> var. <i>coptophyllus</i>			○	○	○	○		
206	ナリシロイチゴ	<i>Rubus parvifolius</i>			○	○		○		
207	エビガライチゴ	<i>Rubus phoenicolasius</i>				○				
208	ワレモコウ	<i>Sanguisorba officinalis</i>					○	○		
209	アズキヤシ	<i>Sorbus alnifolia</i>					○	○		
210	ナカマト	<i>Sorbus commixta</i>					○			
211	ウラジロノキ	<i>Sorbus japonica</i>				○	○			
212	ユキヤナギ	<i>Spiraea thunbergii</i>					○	○		
213	ココメツク	<i>Stephanandra incisa</i>			○	○	○	○		
214	マメ	クサネム		<i>Aeschynomene indica</i>				○	○	
215		ネムキ	<i>Albizia julibrissin</i>				○	○		

※:種名や学名及びその記載順は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成30年度生物リスト」(河川環境データベース 国土交通省 2018年)に準拠した。



表 7.6-6(6) 確認種(植物)※(6/15)

No	分類群	科名	種名	学名	早春季	春季	夏季	秋季		
216	離弁花類	マメ	ヤブマメ	<i>Amphicarpaea edgeworthii</i> var. <i>japonica</i>			○	○		
217			ヌビトハギ	<i>Desmodium podocarpum</i> ssp. <i>oxyphyllum</i>				○		
218			ノボリギ	<i>Dumasia truncata</i>				○	○	
219			ウルマメ	<i>Glycine max</i> ssp. <i>soja</i>				○	○	
220			マルハヤハズソウ	<i>Kummerowia stipulacea</i>		○				
221			ヤハズソウ	<i>Kummerowia striata</i>		○		○	○	
222			ヤマハギ	<i>Lespedeza bicolor</i>				○	○	
223			キハギ	<i>Lespedeza buergeri</i>					○	
224			ムトハギ	<i>Lespedeza cuneata</i>				○	○	
225			ネコハギ	<i>Lespedeza pilosa</i>			○	○		
226			クズ	<i>Pueraria lobata</i>			○	○	○	
227			コマツヅメクサ	<i>Trifolium dubium</i>			○			
228			ムラサキツメクサ	<i>Trifolium pratense</i>		○	○	○	○	
229			シロツメクサ	<i>Trifolium repens</i>		○	○	○	○	
230			ヤハズエンドウ	<i>Vicia angustifolia</i>		○	○			
231			ナンテンハギ	<i>Vicia unijuga</i>			○			
232			ヤブツルアズキ	<i>Vigna angularis</i> var. <i>nipponensis</i>				○	○	
233			フジ	<i>Wisteria floribunda</i>		○	○	○	○	
234			カタハミ	イモカタハミ	<i>Oxalis articulata</i>				○	
235				カタハミ	<i>Oxalis corniculata</i>				○	○
236				エゾチカタハミ	<i>Oxalis fontana</i>				○	○
237				オウチカタハミ	<i>Oxalis stricta</i>			○		○
238			フウロソウ	ゲンノショウコ	<i>Geranium thunbergii</i>	○		○	○	
239	トウダイクサ	エノキグサ	<i>Acalypha australis</i>				○	○		
240		コニシキソウ	<i>Euphorbia maculata</i>				○	○		
241		オオニシキソウ	<i>Euphorbia nutans</i>				○	○		
242		ナツトウダイ	<i>Euphorbia sieboldiana</i>		○	○				
243		シラネ	<i>Sapium japonicum</i>			○	○	○		
244	ユズリハ	ユズリハ	<i>Daphniphyllum macropodum</i>	○	○		○			
245	ミカン	マツカゼソウ	<i>Boenninghausenia japonica</i>			○		○		
246		コクサキ	<i>Orixa japonica</i>		○		○			
247		カラスサビソウ	<i>Zanthoxylum ailanthoides</i>					○		
248		サソウ	<i>Zanthoxylum piperitum</i>			○	○	○		
249		イヌサビソウ	<i>Zanthoxylum schinifolium</i>					○		
250	ニガキ	シソ	<i>Ailanthus altissima</i>				○	○		
251		ニガキ	<i>Picrasma quassioides</i>			○	○	○		
252	ヒメハギ	ヒメハギ	<i>Polygala japonica</i>		○					
253	ウルシ	ツタウルシ	<i>Rhus ambigua</i>			○	○	○		
254		ヌルテ	<i>Rhus javanica</i> var. <i>chinensis</i>			○	○	○		
255		ヤマウルシ	<i>Rhus trichocarpa</i>			○	○	○		
256	カエデ	チドリノキ	<i>Acer carpiniifolium</i>			○				
257		ミツデカエデ	<i>Acer cissifolium</i>					○		
258		カシカエデ	<i>Acer diabolicum</i>			○	○			

※:種名や学名及びその記載順は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成30年度生物リスト」(河川環境データベース 国土交通省 2018年)に準拠した。

表 7.6-6(7) 確認種(植物)\* (7/15)

No	分類群	科名	種名	学名	早春季	春季	夏季	秋季
259	離弁花類	カエデ*	ハウチリカエデ*	<i>Acer japonicum</i>		○	○	○
260			オモシシ*	<i>Acer palmatum</i> var. <i>amoenum</i>		○		○
261			ヤマモシ*	<i>Acer palmatum</i> var. <i>matumurae</i>		○	○	○
262			オニイタギ	<i>Acer pictum</i> f. <i>ambiguum</i>		○	○	○
263			ウラガ* エンコウカエデ*	<i>Acer pictum</i> f. <i>connivens</i>		○	○	○
264			エンコウカエデ*	<i>Acer pictum</i> f. <i>dissectum</i>		○	○	○
265			アカイタギ	<i>Acer pictum</i> ssp. <i>mayrii</i>		○		
266			ウリハダ* カエデ*	<i>Acer rufinerve</i>		○	○	○
267			コハウチリカエデ*	<i>Acer sieboldianum</i>		○	○	○
268			トチノキ	トチノキ	<i>Aesculus turbinata</i>			
269	アヲフ*キ	アヲフ*キ	<i>Meliosma myriantha</i>		○	○	○	
270	ツリフネソウ	ツリフネソウ	<i>Impatiens textori</i>			○	○	
271	モチノキ	イヌツゲ*	<i>Ilex crenata</i>	○	○	○	○	
272		アオハダ*	<i>Ilex macropoda</i>		○	○	○	
273		ウメト*キ	<i>Ilex serrata</i>		○	○	○	
274	ニシキキ*	ツルウメト*キ	<i>Celastrus orbiculatus</i>		○	○	○	
275		ニシキキ*	<i>Euonymus alatus</i>			○	○	
276		コマユミ	<i>Euonymus alatus</i> f. <i>ciliatodentatus</i>	○	○	○		
277		ツルマサキ	<i>Euonymus fortunei</i> var. <i>radicans</i>	○	○	○	○	
278		マサキ	<i>Euonymus japonicus</i>	○	○			
279		ツリハ*ナ	<i>Euonymus oxyphyllus</i>		○	○	○	
280		マユミ	<i>Euonymus sieboldianus</i>	○	○		○	
281		ミツハ*ウツギ*	ミツハ*ウツギ*	<i>Staphylea bumalda</i>		○	○	○
282	クロウメト*キ	クマヤナギ*	<i>Berchemia racemosa</i>		○	○	○	
283		ケンホ*ナシ	<i>Hovenia dulcis</i>				○	
284	ブドウ	ノブ*トウ	<i>Ampelopsis glandulosa</i> var. <i>heterophylla</i>		○	○	○	
285		ヤブ*ガ*ラシ	<i>Cayratia japonica</i>			○	○	
286		ツタ	<i>Parthenocissus tricuspidata</i>		○	○	○	
287		ヤマブ*トウ	<i>Vitis coignetiae</i>			○	○	
288		エビ*ヅ*ル	<i>Vitis ficifolia</i> var. <i>lobata</i>			○		
289		キナクヅ*ル	<i>Vitis flexuosa</i>				○	
290	アオイ	ゼ*ニハ*アオイ	<i>Malva neglecta</i>	○				
291	ク*ミ	ナツク*ミ	<i>Elaeagnus multiflora</i> var. <i>crispa</i> f. <i>orbiculata</i>				○	
292		アネク*ミ	<i>Elaeagnus umbellata</i>			○	○	
293	イイキ*リ	イイキ*リ	<i>Idesia polycarpa</i>		○		○	
294	スミレ	エイサ*ンスミレ	<i>Viola eizanensis</i>	○		○		
295		タチツホ*スミレ	<i>Viola grypoceras</i>		○	○		
296		アオイスミレ	<i>Viola hondoensis</i>		○		○	
297		マキノスミレ	<i>Viola makinoi</i>	○			○	
298		スミレ	<i>Viola mandshurica</i>		○			
299		ニオイタチツホ*スミレ	<i>Viola obtusa</i>		○			
300		アケホ*ノスミレ	<i>Viola rossii</i>				○	
301		カ*ハ*スミレ	<i>Viola rostrata</i> var. <i>japonica</i>	○	○			

※:種名や学名及びその記載順は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成30年度生物リスト」(河川環境データベース 国土交通省 2018年)に準拠した。

表 7.6-6(8) 確認種(植物)※(8/15)

No	分類群	科名	種名	学名	早春季	春季	夏季	秋季	
302	離弁花類	スミレ	ヒナスミレ	<i>Viola takedana</i>	○	○	○	○	
303			スミレサイシン	<i>Viola vaginata</i>	○	○		○	
304			ツボクサスミレ	<i>Viola verecunda</i>		○	○		
305			ノジスミレ	<i>Viola yedoensis</i>	○				
306			ヒカゲスミレ	<i>Viola yezoensis</i>		○			
307		キブシ	キブシ	<i>Stachyurus praecox</i>	○	○	○	○	
308		ウリ	アマキウツル	<i>Gynostemma pentaphyllum</i>	○	○	○	○	
309			スズメウリ	<i>Melothria japonica</i>			○		
310			アレチウリ	<i>Sicyos angulatus</i>			○	○	
311			キカラスウリ	<i>Trichosanthes kirilowii</i> var. <i>japonica</i>			○	○	
312		アカハナ	アカハナ	<i>Epilobium pyrricholophum</i>				○	
313			チョウジタデ	<i>Ludwigia epilobioides</i>			○	○	
314			メマツヨイグサ	<i>Oenothera biennis</i>			○	○	
315		アリノトウグサ	アリノトウグサ	<i>Haloragis micrantha</i>				○	
316	ミスギ	アオキ	<i>Aucuba japonica</i>	○	○	○	○		
317		ヤマホウウシ	<i>Benthamidia japonica</i>		○	○			
318		ミスギ	<i>Cornus controversa</i>		○	○	○		
319		クマノミスギ	<i>Cornus macrophylla</i>			○	○		
320		ハナカサ	<i>Helwingia japonica</i>		○	○	○		
321	ウコキ	クヤマウコキ	<i>Acanthopanax divaricatus</i>			○			
322		コシアブラ	<i>Acanthopanax sciadophylloides</i>		○	○	○		
323		ヤマウコキ	<i>Acanthopanax spinosus</i>	○	○		○		
324		タラノキ	<i>Aralia elata</i>		○	○	○		
325		カクレミノ	<i>Dendropanax trifidus</i>	○			○		
326		タカノツメ	<i>Evodiopanax innovans</i>		○	○	○		
327		ヤツテ	<i>Fatsia japonica</i>	○					
328		キヅタ	<i>Hedera rhombea</i>	○	○	○	○		
329		ハリギリ	<i>Kalopanax pictus</i>		○	○	○		
330		トチハニンジン	<i>Panax japonicus</i>		○		○		
331		セリ	ノダケ	<i>Angelica decursiva</i>	○	○	○	○	
332			セントウソウ	<i>Chamaele decumbens</i>	○	○			
333			ミツハ	<i>Cryptotaenia japonica</i>		○	○	○	
334	オオトメ		<i>Hydrocotyle ramiflora</i>	○	○	○	○		
335	セリ		<i>Oenanthe javanica</i>	○	○	○	○		
336	ヤブニンジン		<i>Osmorhiza aristata</i>		○				
337	ウマノミツハ		<i>Sanicula chinensis</i>		○	○	○		
338	カノツメウ		<i>Spuriopimpinella calycina</i>			○	○		
339	ヤブシラミ		<i>Torilis japonica</i>		○				
340	オヤブシラミ		<i>Torilis scabra</i>			○			
341	合弁花類		リョウブ	<i>Clethra barbinervis</i>		○	○	○	
342			イチヤクソウ	<i>Pyrola japonica</i>	○			○	
343			ツツジ	サササトウダク	<i>Enkianthus campanulatus</i>		○		○
344				ネジキ	<i>Lyonia ovalifolia</i> var. <i>elliptica</i>		○	○	

※:種名や学名及びその記載順は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成30年度生物リスト」(河川環境データベース 国土交通省 2018年)に準拠した。

表 7.6-6(9) 確認種(植物)※(9/15)

No	分類群	科名	種名	学名	早春季	春季	夏季	秋季	
345	合弁花類	ツツジ	レンゲツツジ	<i>Rhododendron japonicum</i>			○		
346			ヤマツツジ	<i>Rhododendron obtusum</i> var. <i>kaempferi</i>	○	○	○	○	
347			ナツハヒ	<i>Vaccinium oldhamii</i>			○		○
348		ヤブコウジ	ヤブコウジ	<i>Ardisia japonica</i>	○	○	○	○	
349	サクラソウ		オカトラノオ	<i>Lysimachia clethroides</i>		○	○	○	
350			コナシヒ	<i>Lysimachia japonica</i> f. <i>subsessilis</i>				○	
351			サクラソウ	<i>Primula sieboldii</i>	○				
352		カキノキ	カキノキ	<i>Diospyros kaki</i>				○	
353	エゴノキ		エゴノキ	<i>Styrax japonica</i>		○	○	○	
354			ハクウンボク	<i>Styrax obassia</i>		○	○	○	
355		ハイノキ	サワフタギ	<i>Symplocos sawafutagi</i>		○	○	○	
356	モクセイ		アオダモ	<i>Fraxinus lanuginosa</i> f. <i>serrata</i>		○	○		
357			ヤマアオダモ	<i>Fraxinus longicuspis</i>				○	
358			マルバアオダモ	<i>Fraxinus sieboldiana</i>		○		○	
359			ネズミモチ	<i>Ligustrum japonicum</i>					○
360			トリネズミモチ	<i>Ligustrum lucidum</i>	○	○	○	○	
361			イボタノキ	<i>Ligustrum obtusifolium</i>	○	○	○	○	
362			ヒイラギ	<i>Osmanthus heterophyllus</i>			○		○
363			リンドウ		フデリンドウ	<i>Gentiana zollingeri</i>	○	○	
364	アケボノソウ	<i>Swertia bimaculata</i>					○		
365	ツルリンドウ	<i>Tripterospermum japonicum</i>			○	○	○	○	
366	キョウチクトウ		テイカカズラ	<i>Trachelospermum asiaticum</i> f. <i>intermedium</i>		○			
367			ツルニチチソウ	<i>Vinca major</i>			○		
368	カガイモ		カガイモ	<i>Metaplexis japonica</i>			○	○	
369			オオカモツル	<i>Tylophora aristolochioides</i>			○	○	
370	アカネ		ヤマムグラ	<i>Galium pogonanthum</i>				○	
371			ヤエムグラ	<i>Galium spurium</i> var. <i>echinospermon</i>	○	○		○	
372			ヨツバムグラ	<i>Galium trachyspermum</i>			○	○	
373			クルマムグラ	<i>Galium trifloriforme</i> var. <i>nipponicum</i>				○	
374			ヘクワカズラ	<i>Paederia scandens</i>			○	○	
375			アカネ	<i>Rubia argyi</i>	○	○	○	○	
376	ヒルガオ		ヒルガオ	<i>Calystegia japonica</i>				○	
377			マルバアサガオ	<i>Ipomoea purpurea</i>				○	
378	ムラサキ		ノハラムラサキ	<i>Myosotis arvensis</i>		○			
379			ルリソウ	<i>Omphalodes krameri</i>	○	○			
380			コンフリー	<i>Symphytum x uplandicum</i>			○	○	
381			キュウリクサ	<i>Trigonotis peduncularis</i>	○	○		○	
382	クマツヅラ		ムラサキシキブ	<i>Callicarpa japonica</i>		○	○	○	
383			ヤブムラサキ	<i>Callicarpa mollis</i>		○	○	○	
384			クサキ	<i>Clerodendrum trichotomum</i>			○	○	
385			ヤナギハナカサ	<i>Verbena bonariensis</i>			○	○	
386	シソ		キランソウ	<i>Ajuga decumbens</i>	○	○			
387			ツクバキンモンソウ	<i>Ajuga yesoensis</i> var. <i>tsukubana</i>		○			

※:種名や学名及びその記載順は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成30年度生物リスト」(河川環境データベース 国土交通省 2018年)に準拠した。

表 7.6-6(10) 確認種(植物)※(10/15)

No	分類群	科名	種名	学名	早春季	春季	夏季	秋季	
388	合弁花類	シソ	クルマハナ	<i>Clinopodium chinense</i> var. <i>parviflorum</i>			○	○	
389			イストウハナ	<i>Clinopodium micranthum</i>				○	
390			ナギナタクウシユ	<i>Elsholtzia ciliata</i>					○
391			フホナギナタクウシユ	<i>Elsholtzia nipponica</i>					○
392			カキトオシ	<i>Glechoma hederacea</i> var. <i>grandis</i>		○	○	○	○
393			ヤマハツカ	<i>Isodon inflexus</i>					○
394			ホトケノギ	<i>Lamium amplexicaule</i>		○			
395			ヒメトマリコソウ	<i>Lamium purpureum</i>		○	○		
396			ラショウモンカスラ	<i>Meehania urticifolia</i>		○	○		○
397			マルバハツカ	<i>Mentha rotundifolia</i>				○	
398			ヒメシソ	<i>Mosla dianthera</i>				○	○
399			イヌコウジユ	<i>Mosla punctulata</i>				○	○
400			シソ	<i>Perilla frutescens</i> var. <i>acuta</i>				○	○
401			ウツボグサ	<i>Prunella vulgaris</i> ssp. <i>asiatica</i>				○	
402			ケナツノタムラウ	<i>Salvia lutescens</i> var. <i>crenata</i>					○
403			キハナアキギリ	<i>Salvia nipponica</i>		○	○	○	○
404			ニガクサ	<i>Teucrium japonicum</i>				○	○
405			ツルニガクサ	<i>Teucrium viscidum</i> var. <i>miquelianum</i>					○
406			ナス	アメリカイヌホオズキ	<i>Solanum ptychanthum</i>				○
407			コマノハグサ	サキコケ	<i>Mazus miquelii</i> f. <i>albiflorus</i>			○	
408	トキワセ	<i>Mazus pumilus</i>					○		
409	コシカマ	<i>Phtheirospermum japonicum</i>						○	
410	チヌノフグリ	<i>Veronica arvensis</i>			○	○			
411	オオノフグリ	<i>Veronica persica</i>			○	○	○	○	
412	ハエトクソウ	ハエトクソウ	<i>Phryma leptostachya</i> var. <i>asiatica</i>				○		
413	オオハコ	オオハコ	<i>Plantago asiatica</i>		○	○	○	○	
414		ヘラオオハコ	<i>Plantago lanceolata</i>		○	○	○	○	
415	スイカスラ	ツクハネツギ	<i>Abelia spathulata</i>			○	○	○	
416		ミヤマケイソクゲラ	<i>Lonicera gracilipes</i> var. <i>glandulosa</i>		○	○	○	○	
417		スイカスラ	<i>Lonicera japonica</i>		○	○	○		
418		コトコ	<i>Sambucus racemosa</i> ssp. <i>sieboldiana</i>		○	○	○	○	
419		カマスミ	<i>Viburnum dilatatum</i>			○	○	○	
420		オオカメキ	<i>Viburnum furcatum</i>				○	○	
421		オトコヨウメ	<i>Viburnum phlebotrichum</i>			○	○	○	
422		ヤブデマリ	<i>Viburnum plicatum</i> var. <i>tomentosum</i>		○		○	○	
423		ミヤマカマスミ	<i>Viburnum wrightii</i>			○	○	○	
424	タニツギ	<i>Weigela hortensis</i>			○	○	○		
425	オミエシ	オトコエシ	<i>Patrinia villosa</i>				○		
426	キキョウ	ツリカネンジン	<i>Adenophora triphylla</i> var. <i>japonica</i>			○	○		
427		ツルニンジン	<i>Codonopsis lanceolata</i>			○	○		
428		ミヅカシ	<i>Lobelia chinensis</i>				○		
429		タニキキョウ	<i>Peracarpa carnosus</i> var. <i>circaeoides</i>			○			
430	キク	ノギ	<i>Adenocaulon himalaicum</i>		○				

※:種名や学名及びその記載順は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成30年度生物リスト」(河川環境データベース 国土交通省 2018年)に準拠した。

表 7.6-6(11) 確認種 (植物) ※ (11/15)

No	分類群	科名	種名	学名	早春季	春季	夏季	秋季	
431	合弁花類	キク	オクモシ <sup>ハク</sup> マ	<i>Ainsliaea acerifolia</i> var. <i>subapoda</i>		○	○	○	
432			キッコウハク <sup>マ</sup>	<i>Ainsliaea apiculata</i>	○	○	○	○	
433			ブ <sup>クサ</sup>	<i>Ambrosia artemisiifolia</i> var. <i>elatior</i>			○		
434			オオ <sup>クサ</sup>	<i>Ambrosia trifida</i>				○	○
435			ヤマハコ	<i>Anaphalis margaritacea</i>				○	
436			ヨモギ <sup>ク</sup>	<i>Artemisia indica</i> var. <i>maximowiczii</i>	○	○	○	○	○
437			イヌヨモギ <sup>ク</sup>	<i>Artemisia keiskeana</i>					○
438			シロヨメ	<i>Aster ageratoides</i> ssp. <i>leiophyllus</i>	○				○
439			ノコンギ <sup>ク</sup>	<i>Aster ageratoides</i> ssp. <i>ovatus</i>					○
440			シラヤマギ <sup>ク</sup>	<i>Aster scaber</i>			○		○
441			オクラ	<i>Atractylodes japonica</i>			○		○
442			アヲカセ <sup>ソウ</sup> クサ	<i>Bidens frondosa</i>				○	○
443			タウコギ <sup>ク</sup>	<i>Bidens tripartita</i>				○	
444			カ <sup>ン</sup> クビ <sup>ソウ</sup>	<i>Carpesium divaricatum</i>				○	○
445			サ <sup>ン</sup> カ <sup>ン</sup> クビ <sup>ソウ</sup>	<i>Carpesium glossophyllum</i>				○	○
446			トキノソウ	<i>Centipeda minima</i>				○	
447			フランスキ <sup>ク</sup>	<i>Chrysanthemum leucanthemum</i>			○	○	
448			タ <sup>キ</sup> ハ <sup>ヒ</sup> メ <sup>サ</sup> ミ	<i>Cirsium amplexifolium</i>					○
449			ノア <sup>サ</sup> ミ	<i>Cirsium japonicum</i>				○	
450			オオ <sup>レ</sup> チ <sup>ノ</sup> ギ <sup>ク</sup>	<i>Conyza sumatrensis</i>				○	○
451			コスモス	<i>Cosmos bipinnatus</i>				○	○
452			ヒメ <sup>カ</sup> シ <sup>ヨ</sup> モギ <sup>ク</sup>	<i>Erigeron canadensis</i>				○	○
453			ハル <sup>シ</sup> オン	<i>Erigeron philadelphicus</i>	○	○	○		
454			オオ <sup>ヒ</sup> ト <sup>リ</sup> ハ <sup>ナ</sup>	<i>Eupatorium makinoi</i> var. <i>oppositifolium</i>				○	○
455			ハキ <sup>カ</sup> キ <sup>ク</sup>	<i>Galinsoga ciliata</i>				○	○
456			ハコ <sup>ク</sup> サ	<i>Gnaphalium affine</i>	○	○	○	○	○
457			ブ <sup>クサ</sup>	<i>Hypochoeris radicata</i>	○	○	○	○	○
458			オオ <sup>チ</sup> シ <sup>バ</sup> リ	<i>Ixeris debilis</i>	○	○			○
459			ニ <sup>カ</sup> ナ	<i>Ixeris dentata</i>			○	○	
460			ハニ <sup>カ</sup> ナ	<i>Ixeris dentata</i> var. <i>albiflora</i> f. <i>amplifolia</i>					○
461			ユカ <sup>ギ</sup> ク	<i>Kalimeris pinnatifida</i>				○	○
462			アキ <sup>ノ</sup> カ <sup>シ</sup>	<i>Lactuca indica</i>				○	○
463			ヤマ <sup>ニ</sup> カ <sup>ナ</sup>	<i>Lactuca raddeana</i> var. <i>elata</i>				○	
464			ヤ <sup>ブ</sup> タ <sup>ビ</sup> ラコ	<i>Lapsana humilis</i>			○		
465	マル <sup>ハ</sup> タ <sup>ケ</sup> ア <sup>キ</sup>	<i>Ligularia dentata</i>	○	○					
466	メ <sup>カ</sup> ラコ <sup>ウ</sup>	<i>Ligularia stenocephala</i>					○		
467	モ <sup>ジ</sup> カ <sup>サ</sup>	<i>Parasenecio delphiniifolius</i>			○	○	○		
468	タ <sup>マ</sup> ア <sup>キ</sup>	<i>Parasenecio farfarifolius</i> var. <i>bulbiferus</i>	○	○			○		
469	オヤ <sup>リ</sup> ハ <sup>ク</sup> マ	<i>Pertya triloba</i>			○	○	○		
470	フキ	<i>Petasites japonicus</i>	○	○	○	○	○		
471	コウ <sup>ゾ</sup> リ <sup>ナ</sup>	<i>Picris hieracioides</i> var. <i>glabrescens</i>			○	○	○		
472	セン <sup>カ</sup> イト <sup>ウ</sup> ヒ <sup>レン</sup>	<i>Saussurea nipponica</i> var. <i>sendaica</i>					○		
473	オオ <sup>ク</sup> ル <sup>マ</sup>	<i>Senecio pierotii</i>			○				

※:種名や学名及びその記載順は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成 30 年度生物リスト」(河川環境データベース 国土交通省 2018 年)に準拠した。

表 7.6-6(12) 確認種(植物)※(12/15)

No	分類群	科名	種名	学名	早春季	春季	夏季	秋季		
474	合弁花類	キク	ノボキク	<i>Senecio vulgaris</i>	○	○	○	○		
475			タムソウ	<i>Serratula coronata</i> ssp. <i>insularis</i>		○		○		
476			コメミ	<i>Siegesbeckia orientalis</i> ssp. <i>glabrescens</i>				○		
477			セイヨウアサギソウ	<i>Solidago altissima</i>	○	○	○	○		
478			オオアサギソウ	<i>Solidago gigantea</i> var. <i>leiophylla</i>			○			
479			アキノキノソウ	<i>Solidago virgaurea</i> var. <i>asiatica</i>			○	○		
480			オニゲシ	<i>Sonchus asper</i>			○	○	○	
481			ノゲシ	<i>Sonchus oleraceus</i>			○		○	
482			ヒメシヨボン	<i>Stenactis annuus</i>	○	○	○	○		
483			ヤブレガサ	<i>Syneilesis palmata</i>	○	○	○	○		
484			オヤマホクチ	<i>Synurus pungens</i>			○			
485			エゾタンホ	<i>Taraxacum hondoense</i>	○	○				
486			セイヨウタンホ	<i>Taraxacum officinale</i>	○	○	○	○		
487			ヤクソウ	<i>Youngia denticulata</i>				○		
488			アオニタビラコ	<i>Youngia japonica</i> ssp. <i>elstonii</i>	○	○				
489			アオニタビラコ	<i>Youngia japonica</i> ssp. <i>Japonica</i>			○	○		
490			単子葉植物	オモタカ	オモタカ	<i>Sagittaria trifolia</i>			○	
491			ユリ	ノギラン	<i>Aletris luteoviridis</i>			○		
492	ノビル	<i>Allium grayi</i>					○			
493	ホウチャクソウ	<i>Disporum sessile</i>						○		
494	チコユリ	<i>Disporum smilacinum</i>		○	○	○	○			
495	カタクリ	<i>Erythronium japonicum</i>		○	○					
496	ショウジョウバカマ	<i>Helonias orientalis</i>					○			
497	コハキホウシ	<i>Hosta sieboldii</i> f. <i>lancifolia</i>		○	○	○	○			
498	ヤマユリ	<i>Lilium auratum</i>					○	○		
499	オウハユリ	<i>Lilium cordatum</i> var. <i>glehnii</i>		○	○	○	○			
500	オニユリ	<i>Lilium lancifolium</i>					○			
501	ヤブラン	<i>Liriope muscari</i>				○	○	○		
502	マイヅルソウ	<i>Maianthemum dilatatum</i>				○	○			
503	ジギビカ	<i>Ophiopogon japonicus</i>		○	○	○	○			
504	オオジギビカ	<i>Ophiopogon planisepus</i>		○	○	○	○			
505	ツクハネソウ	<i>Paris tetrphylla</i>				○				
506	ミヤマナルユリ	<i>Polygonatum lasianthum</i>		○	○	○	○			
507	オオナルユリ	<i>Polygonatum macranthum</i>					○	○		
508	オモト	<i>Rohdea japonica</i>		○	○			○		
509	サルトリイバラ	<i>Smilax china</i>				○	○	○		
510	タチソラ	<i>Smilax nipponica</i>				○	○	○		
511	シオバ	<i>Smilax riparia</i> var. <i>ussuriensis</i>				○				
512	ヤマシユウ	<i>Smilax sieboldii</i>					○	○		
513	ヤマシノホトキス	<i>Tricyrtis affinis</i>				○	○	○		
514	エンレイソウ	<i>Trillium smallii</i>		○	○	○				
515	シロバナエンレイソウ	<i>Trillium tschonoskii</i>				○				
516	アオヤギソウ	<i>Veratrum maackii</i> var. <i>maackioides</i> f. <i>irescens</i>						○		

※:種名や学名及びその記載順は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成30年度生物リスト」(河川環境データベース 国土交通省 2018年)に準拠した。

表 7.6-6(13) 確認種 (植物) ※ (13/15)

No	分類群	科名	種名	学名	早春季	春季	夏季	秋季	
517	単子葉植物	ヒカ`ン`ハ`ナ	ヒカ`ン`ハ`ナ	<i>Lycoris radiata</i>				○	
518		ヤマノイモ	ヤマノイモ	<i>Dioscorea japonica</i>			○	○	
519			ウチワト`コロ	<i>Dioscorea nipponica</i>		○		○	
520			オト`コロ	<i>Dioscorea tokoro</i>				○	○
521		ミス`ア`イ	コナキ	<i>Monochoria vaginalis</i> var. <i>plantaginea</i>			○		
522		アヤメ	ヒメシヤガ	<i>Iris gracilipes</i>	○	○	○	○	
523			ヒメヒオウキ`ス`イセソ	<i>Tritonia crocosmaeflora</i>			○		
524		イグ`サ	イグ`サ	<i>Juncus effusus</i> var. <i>decipiens</i>			○		
525			コウカ`イセ`キショウ	<i>Juncus leschenaultii</i>			○		
526			クサイ	<i>Juncus tenuis</i>				○	○
527			ス`メノヤリ	<i>Luzula capitata</i>	○	○			
528			スカホ`ソウ	<i>Luzula plumosa</i> var. <i>macrocarpa</i>	○	○			
529		ツユクサ	ツユクサ	<i>Commelina communis</i>			○	○	
530		イネ	アオカモシ`ク`サ	<i>Agropyron racemiferum</i>			○		
531			カモシ`ク`サ	<i>Agropyron tsukushiense</i> var. <i>transiens</i>			○		
532			コヌカ`ク`サ	<i>Agrostis alba</i>				○	○
533			ス`メノテッポウ	<i>Alopecurus aequalis</i> var. <i>amurensis</i>	○	○	○		
534			ハルカ`ヤ	<i>Anthoxanthum odoratum</i>	○	○	○		
535			オオカニツリ	<i>Arrhenatherum elatius</i>			○		
536			コフ`ナ`ク`サ	<i>Arthraxon hispidus</i>				○	
537			トク`シ`ハ	<i>Arundinella hirta</i>				○	
538			コウヤサ`サ	<i>Brachyelytrum japonicum</i>				○	○
539			ヤマカモシ`ク`サ	<i>Brachypodium sylvaticum</i>				○	○
540			イヌムキ	<i>Bromus catharticus</i>			○	○	○
541			ス`メノチヤビキ	<i>Bromus japonicus</i>				○	
542			ノカ`リヤス	<i>Calamagrostis arundinacea</i> var. <i>rachytricha</i>					○
543			ヤマアヲ	<i>Calamagrostis epigeios</i>				○	○
544			ヒメノカ`リヤス	<i>Calamagrostis hakonensis</i>					○
545			カモカ`ヤ	<i>Dactylis glomerata</i>	○	○	○	○	
546	メヒシ`ハ		<i>Digitaria ciliaris</i>				○	○	
547	イヌビ`エ		<i>Echinochloa crusgalli</i>				○		
548	ケイヌビ`エ		<i>Echinochloa crusgalli</i> var. <i>echinata</i>				○	○	
549	オビシ`ハ		<i>Eleusine indica</i>				○	○	
550	シナダ`レス`メカ`ヤ		<i>Eragrostis curvula</i>	○	○	○	○		
551	カゼ`ク`サ		<i>Eragrostis ferruginea</i>					○	
552	ニワホコリ		<i>Eragrostis multicaulis</i>				○	○	
553	コス`メカ`ヤ		<i>Eragrostis poaeoides</i>				○	○	
554	ナルコビ`エ		<i>Eriochloa villosa</i>				○		
555	オニシノ`ク`サ		<i>Festuca arundinacea</i>			○	○	○	
556	トホ`シカ`ラ		<i>Festuca parvigluma</i>				○		
557	チカ`ヤ		<i>Imperata cylindrica</i> var. <i>koenigii</i>	○	○	○	○		
558	チゴ`サ`サ		<i>Isachne globosa</i>				○		
559	ネ`ミムキ	<i>Lolium multiflorum</i>				○			

※:種名や学名及びその記載順は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成 30 年度生物リスト」(河川環境データベース 国土交通省 2018 年)に準拠した。



表 7.6-6(14) 確認種(植物)※(14/15)

No	分類群	科名	種名	学名	早春季	春季	夏季	秋季		
560	単子葉植物	イネ	コモチヤ	<i>Melica nutans</i>		○				
561			ササカヤ	<i>Microstegium japonicum</i>				○		
562			ホト	<i>Miscanthus sacchariflorus</i>				○	○	
563			ススキ	<i>Miscanthus sinensis</i>	○	○	○	○		
564			ケチチミササ	<i>Oplismenus undulatifolius</i>				○	○	
565			コチチミササ	<i>Oplismenus undulatifolius</i> var. <i>japonicus</i>				○		
566			ヌカキヒ	<i>Panicum bisulcatum</i>					○	
567			オオクサキヒ	<i>Panicum dichotomiflorum</i>				○		
568			アメリカスズメノヒエ	<i>Paspalum notatum</i>				○		
569			スズメノヒエ	<i>Paspalum thunbergii</i>				○	○	
570			チカウシハ	<i>Pennisetum alopecuroides</i> f. <i>purpurascens</i>					○	
571			クサヨシ	<i>Phalaris arundinacea</i>				○	○	○
572			オオアワカエリ	<i>Phleum pratense</i>				○		
573			ヨシ	<i>Phragmites australis</i>				○	○	○
574			マダケ	<i>Phyllostachys bambusoides</i>	○	○			○	
575			モウソウチク	<i>Phyllostachys pubescens</i>	○	○			○	
576			アズマネギサ	<i>Pleioblastus chino</i>	○	○	○	○	○	
577			ミノイコツナギ	<i>Poa acroleuca</i>				○		
578			スズメノカタビラ	<i>Poa annua</i>	○	○	○	○	○	
579			ヤマミノイコツナギ	<i>Poa hisauchii</i>				○		
580			ナカハクサ	<i>Poa pratensis</i>				○		
581			オオスズメノカタビラ	<i>Poa trivialis</i>				○		
582			ヤダケ	<i>Pseudosasa japonica</i>	○					
583			ミヤコササ	<i>Sasa nipponica</i>	○	○	○	○	○	
584			アズマササ	<i>Sasaella ramosa</i>	○	○	○	○	○	
585			スズダケ	<i>Sasamorpha borealis</i>	○	○	○	○	○	
586			アキノエノコログサ	<i>Setaria faberi</i>				○	○	
587			キンエノコ	<i>Setaria pumilla</i>				○	○	
588			エノコログサ	<i>Setaria viridis</i>				○	○	
589			オカメササ	<i>Shibataea kumasasa</i>	○					
590			ナギナタカヤ	<i>Vulpia myuros</i>				○		
591			シハ	<i>Zoysia japonica</i>	○	○	○	○	○	
592			ヤシ	シュロ	<i>Trachycarpus fortunei</i>	○				
593			サトイモ	コウライナンショウ	<i>Arisaema peninsulae</i>			○		
594	ウラシマウ	<i>Arisaema thunbergii</i> ssp. <i>urashima</i>				○				
595	ガラスビシヤク	<i>Pinellia ternata</i>					○	○		
596	ウキクサ	アオウキクサ	<i>Lemna oukikusa</i>			○				
597	ガマ	ガマ	<i>Typha latifolia</i>			○	○			
598		コガマ	<i>Typha orientalis</i>			○				
599	カヤツリグサ	ハリカネサグ	<i>Carex capillacea</i>			○				
600		ミヤマシラスグ	<i>Carex confertiflora</i>				○			
601		カササグ	<i>Carex dispalata</i>			○				
602		カリラスグ	<i>Carex incisa</i>			○				

※:種名や学名及びその記載順は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成30年度生物リスト」(河川環境データベース 国土交通省 2018年)に準拠した。

表 7.6-6(15) 確認種 (植物) ※ (15/15)

No	分類群	科名	種名	学名	早春季	春季	夏季	秋季		
603	単子葉植物	カヤツリグサ	ヒコグサ	<i>Carex japonica</i>				○		
604			ヒカゲスガ	<i>Carex lanceolata</i>	○	○				
605			アスマスガ	<i>Carex lasiolepis</i>	○			○		
606			アオスガ	<i>Carex leucochlora</i>			○			
607			ヒメシラスガ	<i>Carex mollicula</i>				○		
608			ミヤマカンスガ	<i>Carex multifolia</i>			○			
609			トアオスガ	<i>Carex puberula</i>			○			
610			シラコスガ	<i>Carex rhizopoda</i>			○			
611			アスマナルコ	<i>Carex shimidzensis</i>				○		
612			タカネリ	<i>Carex siderosticta</i>	○	○	○	○		
613			タマガヤツリ	<i>Cyperus difformis</i>					○	
614			ココメカヤツリ	<i>Cyperus iria</i>					○	
615			カヤツリグサ	<i>Cyperus microiria</i>				○	○	
616			ヤマイ	<i>Fimbristylis subbispicata</i>				○		
617			ホタルイ	<i>Schoenoplectus hotarui</i>				○		
618			アブラカギ	<i>Scirpus wichurae</i>				○		
619			ショウガ	ミョウガ	<i>Zingiber mioga</i>			○	○	
620			ラン	キンセイヤン	<i>Calanthe nipponica</i>					○
621				キンラン	<i>Cephalanthera falcata</i>			○		
622	サイハイラン	<i>Cremastra appendiculata</i>		○	○			○		
623	シュンラン	<i>Cymbidium goeringii</i>		○	○			○		
624	アケボノシュスラン	<i>Goodyera foliosa</i> var. <i>maximowicziana</i>						○		
625	ミヤマウスラ	<i>Goodyera schlechtendaliana</i>		○	○			○		
626	トンボノリ	<i>Platanthera ussuriensis</i>				○	○			
627	ネジバナ	<i>Spiranthes sinensis</i> var. <i>amoena</i>					○			
合計	-	120科		627種	-	179種	351種	398種	431種	

※:種名や学名及びその記載順は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成30年度生物リスト」(河川環境データベース 国土交通省 2018年)に準拠した。

## イ 注目すべき種

事後調査で確認された確認種のうち、表 7.6-7に示す選定基準に該当する注目すべき種は表 7.6-9(1)～(2)に示すとおり、40科78種であった。

注目すべき種の確認状況は表 7.6-10(1)～(3)、確認位置は図 7.6-3～図 7.6-6に示すとおりである。

表 7.6-7 注目すべき種の選定基準

選定基準		番号	説明
仙台市における保全上重要な種の区分  I  『平成28年度自然環境に関する基礎調査業務報告書』（仙台市、2017年）	① 学術上重要種	1	仙台市においてもともと稀産あるいは希少である種あるいは生息地・生育地がごく限られている種。
		2	仙台市周辺地域が分布の北限、南限等の分布限界となる種。
		3	仙台市が模式産地（タイプロカリティ）となっている種。
		4	1, 2, 3には該当しないが、各分類群において、注目に値すると考えられる種。（継続的に観察・研究されている個体群が存在する種など）
	② 減少種*	EX	絶滅。過去に仙台市に生息したことが確認されており、飼育・栽培下を含め、仙台市では既に絶滅したと考えられる種。
		EW	野生絶滅。過去に仙台市に生息していたことが確認されており、飼育・栽培下では存続しているが、野生ではすでに絶滅したと考えられる種。
		A	現在、ほとんど見ることができない、あるいは近い将来ほとんど見ることができなくなるおそれがある種。
		B	減少が著しい、あるいは近い将来著しい減少のおそれがある種。
		C	減少している、あるいは近い将来減少のおそれがある種。
		+	普通に見られる、あるいは当面減少のおそれがない種。
		/	もともと生息・生育しない可能性が非常に大きい。
	・	判断に資する情報がない。	
	③ 環境指標種	○	本市の各環境分類において良好な環境を指標する種。（ビオトープやミティゲーションにおける計画・評価のための指標）
	レッドデータ等  II  『宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物 RED DATA BOOK MIYAGI 2016』（宮城県、2016年）	EX	絶滅
EW		野生絶滅	
CR+EN		絶滅危惧Ⅰ類	
VU		絶滅危惧Ⅱ類	
NT		準絶滅危惧	
DD		情報不足	
要		要注目種	
III  『環境省レッドリスト2020』（環境省報道発表資料、2020年）		EX	絶滅
		EW	野生絶滅
		CR	絶滅危惧ⅠA類
		EN	絶滅危惧ⅠB類
		VU	絶滅危惧Ⅱ類
		NT	準絶滅危惧
DD		情報不足	
LP	絶滅のおそれのある地域個体群		
IV  『文化財保護法』（昭和25年法律第214号）	特天	『文化財保護法』（昭和25年法律第214号）における特別天然記念物	
	天	『文化財保護法』（昭和25年法律第214号）における天然記念物	
V  『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）』（平成4年法律第75号）	国内	『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）』（平成4年法律第75号）における国内希少野生動植物	
	国際	『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）』（平成4年法律第75号）における国際希少野生動植物	

※：選定基準 I 「②減少種」における仙台市の地域区分は、表 7.6-8に示すとおりである。

表 7.6-8 減少種の地域区分<sup>※1,2</sup>

番号	地域区分
1	山地地域
2	西部丘陵地・田園地域
3	市街地地域
4	東部田園地域
5	海浜地域（後背の樹林帯も含む）



※1: 「平成28年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務報告書」（平成29年3月 仙台市）  
「杜の都環境プラン 仙台市環境基本計画」（平成28年3月 仙台市）

※2: 対象事業計画地は、「2 西部丘陵地・田園地域」に該当する。

表 7.6-9(1) 注目すべき種 (植物) ※<sup>1</sup> (1/2)

No.	分類群	科名	種名	確認時期 <sup>※2</sup>				注目すべき種選定基準										
				早春季	春季	夏季	秋季	①	I					③	II	III	IV	V
									②									
				1	2	3	4	5										
1	シダ植物	オンダ	リヨウモンシダ	○	○	○	○		・	B	・	・	・	○				
2			オンダ	○	○	○	○		・	B	・	・	・					
3			イワシロイノテ		▲	○	○		・	B	・	・	・					
4			サカサエノテ	○	○	○	○		・	B	・	・	・					
5			ジユウモンシダ	○	▲	○	○		・	B	・	・	・	○				
6		メシダ	イヌカソソク		○				・	C	・	C	・					
7			クサソテツ		○				・	B	・	C	・					
8	裸子植物	マツ	モミ	▲	▲	○	○		・	C	・	・	・	○				
9		イチイ	カヤ	○	○	○	○		・	B	・	・	・					
10	離弁花類	クルミ	オオクルミ		○	○	○		・	B	B	B	・	○				
11			カハノキ	サワシハ			○	○		C	B	・	・	・	○			
12				アカシテ		○	○	○		C	B	・	・	/	○			
13		イヌシテ			○	○	○	4	C	B	・	・	C	○				
14		ブナ	イヌブナ			○	○	1,4	・	B	・	・	・	○				
15			アカカシ		○			2	・	C	C	C	C	○				
16			ミスナラ			○	○		C	B	・	・	・					
17			アヲカシ	○	○		○	1,2	・	C	・	・	・		要			
18			シラカシ	○				2	・	C	C	C	/	○				
19		ニレ	エノキ				○	4	・	B	B	B	・					
20			ケヤキ		○	○	○		C	C	B	B	・	○				
21		タテ	イヌタテ			○	○		・	・	・	・	・	○				
22			ミヅソバ		○	○	○		・	C	B	C	・	○				
23		サクロソウ	サクロソウ				○	1	・	・	・	・	・					
24		クスノキ	オオハクロモン		▲	○	○		・	・	・	・	・	○				
25			シロタモ	○				2	・	+	・	+	+	○				
26		キンポウゲ	ニリンソウ	○	○				・	B	・	B	・	○				
27			リュウキンカ	○	○				・	・	・	・	・	○				
28			カサケルマ	○	○				1	・	B	・	B	・		VU	NT	
29		ツバキ	ヤマツバキ	○	▲	○	○		・	B	B	B	B	○				
30		ケシ	ヤマフキソウ	▲	▲		○	1	・	B	・	・	・					
31		アブナ	ナスナ	○	▲		○		・	B	B	B	・	○				
32		ユキノシタ	トリアシヨウマ			○	○		C	B	・	B	・					
33	ハナ	サエフリボク				○	1	・	B	・	・	・						
34		ヤマフキ			○	○		・	C	・	・	・	○					
35		カサミサクラ		▲	○	○		・	C	・	・	・	○					
36	ユズリハ	ユズリハ	▲	○		○	1,2	・	C	・	C	C						
37	カエデ	ハチワカエデ		▲	○	○		・	C	・	・	・						
38		ヤマモミジ		○	○	○		・	B	・	・	・	○					
39		ウラケエンコウカエデ		▲	○	○		・	C	・	・	・						
40		エンコウカエデ		▲	○	○		・	C	・	・	・						
41		ウリハダカエデ		▲	○	○		・	C	・	・	・						
42	モチノキ	イヌツゲ	○	▲	○	○		・	C	・	・	C						

※1:種名や学名及びその記載順は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成30年度生物リスト」(河川環境データベース 国土交通省 2018年)に準拠した。

※2:「▲」は同一地点での再確認であるため、図示していない。